消防年報

平成 24 年版 (平成 25 年 6 月刊行)



(平成25年度特別救助隊特別強化訓練 ロープブリッジ救出の訓練様子)

伊達地方消防組合消防本部



はしがき

この年報は、伊達地方消防組合の現勢と消防諸般の事項を収録し、その現状を 広く紹介することに併せ、消防行政の推進のため編集したものであります。

この資料を一つの参考として広域消防行政の実態をご理解いただき、より一層のご支援ご協力を賜れば幸いと存じます。

なお、各消防統計は、暦年又は年度で表し、また消防状況の逐年傾向を知るため 必要なものについては過去にさかのぼり集録したものであります。

平成 25 年6月

伊達地方消防組合消防本部

目 次

1	伊達地方消防組合のあゆみ
2	伊達地方消防組合市町別・面積・世帯数・人口調
3	伊達地方消防組合市町別・面積・人口・世帯数に対する消防力
4	the late of the Control of the second of the
5	総務
	(1)伊達地方消防組合・消防本部・消防署組織
	(2)伊達地方消防組合消防本部・消防署(分署)事務分掌13
	(3)消防機関所在地19
	(4)消防庁舎の現状21
	(5)平成25年度一般会計予算22
	(6)職員配置状況調23
	(7)職員階級別勤続年数調24
	(8)職員階級別年齢調25
	(9)職員市町村別居住地調25
	(10)職員研修状況調26
	(11)職員特殊技能その他資格取得者調
6	予 防
	火 災 統 計
	平成24年火災概要
	(1)火災総括表30
	(2)火災概況及び比較表31
	(3) 市町別・月別火災発生状況32
	(4)火災件数と損害額
	(5)火災種別発生率34
	(6) 市町別火災発生率34
	(7)時間別火災発生状況35
	(8) 覚知方法別出火件数35
	(9)出火率の推移36
	(10)火災による死傷者の推移36
	(11)過去5年間における各市町火災発生状況37
	(12)原因別火災発生状況
	(13) 気象別出火件数調(湿度)39
	(14) 気象別出火件数調(風速)39
	(15)曜日別出火件数調40
	(* · · / · · E · · · / · · · · · · · · · ·

	(16) 気象別出火件数調(天候)40
	(17)全国及び福島県の火災記録(10年間)41
;	危険物統計
	(1)市町別危険物製造所等43
	(2)倍数別危険物製造所等(完成検査済証交付施設)44
	(3)容量別屋外タンク貯蔵所(完成検査済証交付施設)44
•	予防統計
	(1)市町別・工事種別同意処理状況46
	(2)市町別・月別同意処理状況46
	(3)市町別・用途別建築同意処理状況47
	(4)防火対象物施設数48
	(5)防火対象物の階層別・面積別調49
	(6)甲種防火対象物防火管理者選任届出状況50
	(7)乙種防火対象物防火管理者選任届出状況51
	(8)防火対象物立入検査実施状況52
	(9)消防用設備等の届出、検査済証件数53
	(10)火災予防条例等に基づく届出状況54
7	警防
	(1)伊達地方消防組合消防本部・消防署(分署)及び消防機械配置図56
	(2)消防本部(中央消防署)から分署・各町間の距離57
	(3)相互応援協定
	(4) 現勢消防力調
	(5)消防水利現況調
	(6)消防車両等の現勢調60
	(7)無線局配置状況調62
	(8)消防機器材の現有状況63
8	救助統計
	(1)事故種別出場件数活動件数調67
	(2)事故種別車両別救出者搬送人員調67
	(3)事故種別出場人員活動人員調68
	(4)事故種別出場車両及び活動車両等台数調69
	(5)事故種別発生場所別出場件数及び活動件数調70
	(6)事故種別発生場所別救助人員調71
9	救急統計
	平成24年救急活動の概要73
	(1)市町別・月別救急出場状況74

(2) 市町別•事故種別救急出場状況75
(3)事故種別救急出場状況(前年比較)76
(4)搬送人員傷病程度別分類状況77
(5)搬送人員年齢別比率77
(6)市町別救急出場状況(前年比較)78
(7)急病にかかる疾病分類別傷病程度別搬送人員調79
(8) 医療機関別搬送状況80
(9)一日の出場件数比率81
(10)事故種別救急出場件数比率81
(11)月別出場件数(前年比較)82
(12)事故種別•時間別救急出場状況83
(13)性別·年齢別搬送人員状況84
(14)過去5年間の事故種別救急出場状況85
(15)現場到着所要時間別出場件数調86
(16) 収容時間別搬送人員数調86
(17)過去10年の救急出場件数87
(18)各市町別の救急出場率及び搬送割合の推移88
(19)署•分署別救急出場状況(前年比較)89

伊達地方消防組合のあゆみ

- 昭和 36.11.1 保原町に常備消防部新設、部員5名、消防ポンプ自動車1台配置される。
- 昭和 37. 4. 1 保原町常備消防部 部員1名増員、総員6名となる。
- 昭和 38.10.25 保原町常備消防部に小型動力ポンプ(B3級)1 台配置される。
- 昭和 41. 6. 1 常備消防協議会方式による桑折町、伊達町及び国見町3町常備消防部を桑折町字堰下 1番地内に新設、部員7名、消防ポンプ自動車1台配置される。
- 昭和 42. 4.12 桑折町、伊達町及び国見町 3 町常備消防部に日本損害保険協会より消防ポンプ自動車 1 台寄贈される。
- 昭和 44.4.1 保原町常備消防部 部員2名増員、総員8名となる。
- 昭和 44.10.1 梁川町に役場職員併任による常備消防部新設、部員 24 名、消防ポンプ自動車 1 台配置 される。
- 昭和 44.11. 1 川俣町に常備消防部新設、部員 9 名、消防ポンプ自動車 1 台配置される。
- 昭和 45. 2. 1 桑折町、伊達町及び国見町3町常備消防部 部員1名増員、総員8名となる。
- 昭和 45. 4. 1 川俣町常備消防部 部員 2 名増員、総員 11 名となる。
- 昭和 46. 1.14 川俣町常備消防部に日本自動車工業会より救急車1台寄贈される。
- 昭和 46. 2. 消防に関する事務を共同処理するため、伊達地方消防組合の設立について、桑折町、伊達町、国見町、梁川町、保原町、霊山町及び月舘町の各町議会においてそれぞれ議決される。
- 昭和 46.3.9 福島県知事へ伊達地方消防組合設立の許可申請をする。
- 昭和 46.4.1 福島県指令地第572号をもって設立が許可され伊達地方消防組合が発足する。
- 昭和 46. 4. 1 川俣町常備消防部救急業務開始に伴い部員 2 名増員、総員 13 名となる。
- 昭和 46.5.1 伊達地方消防組合に消防本部を設置する。

県より職員1名の派遣を受ける。

- 昭和 46.9.1 消防職員1名採用、総員2名となる。
- 昭和 46.10.1 消防職員採用試験を実施する。
- 昭和 46.10.11 消防職員 13 名採用、総員 15 名となる。
- 昭和 46.10.21 消防本部、中央消防署及び東分署庁舎建設工事請負契約を締結する。
- 昭和 46.12.24 消防本部に司令車1台配置する。
- 昭和 47. 1. 7 消防職員 20 名採用、総員 35 名となる。
- 昭和 47. 2. 1 消防職員1名採用、総員36名となる。
- 昭和 47. 3.27 消防本部、中央消防署庁舎(鉄筋コンクリート一部 3 階建 973.73 ㎡、建設事業費 55,870 千円)を保原町大字大泉字大地内 93 番地内に新築、また東分署庁舎(鉄筋コンクリート 2 階建 377.71 ㎡、建設事業費 20,050 千円)を霊山町大字下小国字畑尻 45 番地内に新築する。
- 昭和 47. 3.28 日本損害保険協会より救急車(3B型)1台寄贈される。
- 昭和 47. 4. 1 伊達地方消防組合に中央消防署を設置し、署に東分署、西分署及び北分署を設置する。

中央消防署に消防ポンプ自動車1台及び救急車(3B型)1台配置、東分署、西分署及び北分署に消防ポンプ自動車各1台配置し、消防救急業務を開始する。

保原町より職員1名、霊山町より職員1名の派遣を受ける。

桑折町、伊達町及び国見町3町常備部より職員8名、梁川町常備部より職員1名及び保原町常備部より職員7名採用、総員54名となる。

- 昭和 47. 4. 1 川俣町常備消防部 部員 2 名増員、総員 15 名となる。
- 昭和 47. 5. 1 消防職員 30 名採用、総員 84 名となる。

- 昭和 47. 7.15 日本船舶振興会より救急車(2B型)1台寄贈され西分署に配置する。
- 昭和 47. 8.28 西分署及び北分署庁舎建設工事請負契約を締結する。
- 昭和 48. 1.20 中央消防署、東分署、西分署及び北分署に消防ポンプ自動車各1台配置する。

中央消防署及び東分署に広報連絡車各1台配置する。

東分署及び北分署に可搬式小型動力ポンプ1台配置する。

- 昭和 48. 1.30 西分署及び北分署に広報連絡車各1台配置する。
- 昭和 48. 3.27 西分署庁舎(鉄筋コンクリート 2 階建 570.92 ㎡、建設事業費 31,700 千円)を桑折町大字 上郡字楽5番地内に新築、また北分署庁舎(鉄筋コンクリート 2 階建 382.97 ㎡、建設事業 費 23,910 千円)を梁川町字東塩野川 63番地内に新築する。
- 昭和 48. 3.31 派遣職員1名霊山町に復帰、総員83名となる。
- 昭和 48.4.1 川俣町及び飯野町が伊達地方消防組合に加入する。

中央消防署に南分署を設置し、消防ポンプ自動車1台、救急車(2B型)1台をもって消防 救急業務を開始する。

川俣町より職員1名の派遣を受ける。

川俣町常備消防部より職員14名、消防職員8名採用、総員106名となる。

- 昭和 48. 5.20 南分署に広報連絡車1台配置する。
- 昭和 48.6.1 消防職員1名採用、1名退職、総員106名となる。
- 昭和 48.10.30 東分署及び北分署に救急車各1台配置する。
- 昭和 48.11.29 日本自動車工業会より救急車(2B型)1台寄贈され南分署に配置する。
- 昭和 49. 3.13 南分署に消防ポンプ自動車及び可搬式小型動力ポンプ各1台配置する。
- 昭和 49. 3.15 中央消防署に水槽付消防ポンプ自動車(水槽 1,9000、発動発電投光器、三連はしご装備)1 台配置する。
- 昭和 49. 3.28 西分署に化学消防ポンプ自動車(薬液槽 5000、水槽 1,8000、低発泡及び高発泡発生放射装置、自動噴霧装置、三連はしご装備)1 台配置する。
- 昭和 49. 4. 1 派遣職員 1 名県に復帰、月舘町より職員 1 名の派遣を受ける。 消防職員 10 名採用、総員 116 名となる。
- 昭和 49.11.1 南分署配置の消防ポンプ自動車1台を川俣町に返還する。
- 昭和 50. 1.17 南分署に消防ポンプ自動車1台配置する。
- 昭和 50. 2.13 中央消防署に救助工作車1台配置する。
- 昭和 50. 4. 1 東北高速自動車道、郡山〜白石間の開通に伴い、救急業務を開始する。 消防職員 5 名採用、総員 121 名となる。
- 昭和 50. 6.30 派遣職員1名川俣町に復帰、総員120名となる。
- 昭和 50.8.1 消防職員1名退職、総員119名となる。
- 昭和 50.11.1 消防本部配置の司令車1台更新する。
- 昭和 51. 3. 4 西分署に救急車(2B型)1台配置する。
- 昭和 51. 6.30 派遣職員1名月舘町に復帰、総員118名となる。
- 昭和 51.10.1 消防本部に予防査察車1台配置する。
- 昭和 52. 1.14 南分署配置の救急車(2B型)1台更新する。 中央消防署及び西分署に可搬式小型動力ポンプ各1台配置する。
- 昭和 52. 3.31 消防職員1名退職、総員117名となる。
- 昭和 52. 4. 1 消防職員 9 名採用、総員 126 名となる。
- 昭和 52.10.27 中央消防署及び東分署配置の広報連絡車各1台更新する。
- 昭和 53. 2.28 消防職員1名退職、総員125名となる。

- 昭和 53. 4.20 消防職員1名退職、総員124名となる。
- 昭和 54.1.27 西分署及び北分署配置の広報連絡車各1台更新する。
- 昭和 54. 1.31 中央消防署配置の救急車(2B型)1台更新する。
- 昭和 54. 2. 3 北分署配置の消防ポンプ自動車を水槽付消防ポンプ自動車(水槽 2,0000、発動発電投 光器、三連はしご装備)に更新する。
- 昭和 54.3.5 北分署配置の消防ポンプ自動車1台を梁川町に譲渡する。
- 昭和 54. 4. 1 消防職員 10 名採用、1 名退職、総員 133 名となる。
- 昭和54年.10.26 中央消防署訓練場用地2,911 ㎡を取得拡張整備する。
- 昭和 54.10.30 南分署配置の広報連絡車1台更新する。 西分署配置の救急車(2B型)1台更新する。
- 昭和 54.12.7 中央消防署及び西分署配置の消防ポンプ自動車各1台更新する。 東分署及び南分署配置の消防ポンプ自動車を水槽付消防ポンプ自動車(水槽 2,0000、 発動発電投光器、三連はしご装備)に更新する。
- 昭和 54.12.13 中央消防署配置の消防ポンプ自動車を伊達町に、東分署配置の消防ポンプ自動車を霊 山町に、西分署配置の消防ポンプ自動車を国見町にそれぞれ譲渡する。
- 昭和 54.12.14 南分署配置の消防ポンプ自動車1台を飯野町に譲渡する。
- 昭和 55. 7.28 訓練塔本体新築工事請負契約を締結する。
- 昭和 55.10.1 南分署配置の救急車(2B型)1台更新する。
- 昭和 55.12.18 東分署及び北分署配置の消防ポンプ自動車各1台更新する。
- 昭和 55.12.27 東分署配置の消防ポンプ自動車1台を月舘町に譲渡する。
- 昭和 56. 1.16 北分署配置の消防ポンプ自動車1台を梁川町に譲渡する。
- 昭和 56. 1.25 高所訓練塔(鉄筋コンクリート 5 階建 245 ㎡) 耐熱耐炎訓練塔兼補助塔(鉄筋コンクリート 2 階建 495.5 ㎡) 建築事業費 86,400 千円で新築する。
- 昭和 56. 3.31 県消防学校へ1名派遣、1名退職、総員132名となる。
- 昭和 56. 4.30 消防職員1名退職、総員131名となる。
- 昭和 56. 6.20 消防職員1名退職、総員130名となる。
- 昭和 56.7.7 第4回福島県消防救助技術大会を当消防本部中央消防署訓練場にて開催する。
- 昭和 56. 9.30 消防職員1名退職、総員129名となる。
- 昭和 56.11. 3 消防職員1名採用、総員130名となる。
- 昭和 56.11.16 東分署及び北分署配置の救急車各1台更新する。
- 昭和 56.12.24 中央消防署配置の消防ポンプ自動車1台更新する。
- 昭和 57. 1.18 中央消防署配置の消防ポンプ自動車1台を保原町に譲渡する。
- 昭和 57. 3.15 中央消防署にはしご付消防ポンプ自動車(24M級)1 台配置する。
- 昭和 57. 3.25 福島県共済農業協同組合連合会より救急車(2B型)1台寄贈され、西分署に配置する。
- 昭和 57. 3.31 消防職員1名退職、総員129名となる。
- 昭和 57. 4. 1 消防職員3名採用、総員132名となる。
- 昭和 57. 4.21 消防職員1名退職、総員131名となる。
- 昭和 57. 9.30 消防本部配置の司令車、査察車各1台更新する。
- 昭和 58. 1.31 西分署配置の救急車更新に伴い旧車両を水防用人員資器材搬送車に改造、消防本部 に配置する。
- 昭和 58. 2.26 西分署及び南分署配置の消防ポンプ自動車各1台更新する。
- 昭和 58. 3.10 南分署配置の消防ポンプ自動車1台を川俣町に譲渡する。
- 昭和 58. 3.11 西分署配置の消防ポンプ自動車1台を桑折町に譲渡する。

- 昭和 58.4.1 消防職員8名採用、総員139名となる。
- 昭和 58. 5.30 消防本部に事務連絡車1台配置する。
- 昭和 58.11.21 中央消防署配置の救急車(予備車)1台更新する。
- 昭和 59. 2. 2 中央消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車並びに西分署配置の化学消防ポンプ自動 車各 1 台更新する。
- 昭和 59. 2.24 中央消防署配置の救急車(予備車)更新に伴い旧車両を指揮広報車に改造、消防本部 に配置する。
- 昭和 59. 2.25 中央消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車を梁川町に、西分署配置の化学消防ポンプ 自動車を川俣町に譲渡する。
- 昭和 59. 4.30 消防職員1名退職、総員138名となる。
- 昭和 59. 9.27 中央消防署及び東分署配置の広報連絡車各1台更新する。
- 昭和 59.11.10 中央消防署厚生室、仮眠室(72 m²)を増築する。
- 昭和 60.3.6 伊達地方消防組合並びに川俣町消防団が自治省消防長官より表彰(竿頭綬授与)される。
- 昭和 60.4.1 伊達地方消防組合消防本部の組織に関する規則の一部を改正、消防課を警防課、予防 課の2課に改組する。
- 昭和 60. 4. 1 消防職員 5名採用、総員 143 名となる。
- 昭和 60. 6.22 消防本部配置の査察車1台更新する。
- 昭和 60. 8.20 消防本部配置の査察車更新に伴い旧車両を照明車に改造、中央消防署に配置する。
- 昭和 60.11.19 中央消防署配置の救助工作車1台更新する。
- 昭和 61. 2.24 東分署、南分署及び北分署配置の小型動力ポンプ各1台更新する。
- 昭和 61. 3.25 福島県共済農業協同組合連合会より救急車(2B型)1 台寄贈され、中央消防署配置の救 急車を更新する。
- 昭和 61. 3.31 中央消防署配置の救急車更新に伴い旧車両を指揮広報車に改造、消防本部に配置する。
- 昭和 61. 4.12 消防職員1名退職、総員142名となる。
- 昭和 61. 6.10 消防本部配置の水防用人員資器材搬送車1台更新する。
- 昭和 61.7.9 中央消防署及び西分署の小型動力ポンプ各1台更新する。
- 昭和 61. 7.10 車庫兼資材庫(鉄骨ブロック造 60 m²)を新築する。
- 昭和 62. 5.15 伊達地方消防組合消防本部並びに梁川町消防団が8.5 水害救援救助活動によって福島 県知事より表彰(竿頭綬授与)される。
- 昭和 62.6.8 中央消防署に消防用トラック(2t)1 台配置する。
- 昭和 62. 8.31 関日本消防協会より救急車(2B型)1 台寄贈され、西分署配置の救急車を更新する。
- 昭和 62.12. 1 西分署配置の救急車更新に伴い旧車両を水防用人員資器材搬送車に改造、消防本部 に配置する。
- 昭和 62.12.28 南分署庁舎炊事室(9.5 m²)を増築する。
- 昭和 63. 1.25 消防本部配置の旧水防用人員資器材搬送車1台廃車する。
- 昭和 63.4.1 消防職員2名採用、総員144名となる。
- 昭和 63.8.1 西分署及び南分署配置の広報連絡車各1台更新する。
- 平成 元. 3.31 消防職員1名退職、総員143名となる。
- 平成 元. 4. 3 消防職員1名採用、総員144名となる。
- 平成 元.6.29 第12回福島県消防救助技術大会を当消防本部中央消防署訓練場にて開催する。
- 平成 元.12.15 北分署配置の広報連絡車1台更新する。
- 平成 2.1.31 南分署配置の救急車1台更新する。

- 平成 2.4.1 4週6休制実施(3部制試行)する。
- 平成 2.10.15 東分署及び北分署配置の救急自動車各1台更新する。
- 平成 3.3.31 消防職員1名退職、総員143名となる。
- 平成 3.12.18 西分署配置の救急車1台更新する。
- 平成 4.1.16 水槽付消防ポンプ自動車1台を梁川町に譲渡する。
- 平成 4.2.7 北分署配置の水槽付消防ポンプ自動車1台更新する。
- 平成 4.3.31 消防職員1名退職、総員142名となる。
- 平成 4.4.1 消防職員3名採用、総員145名となる。
- 平成 4.10.26 消防職員1名退職、総員144名となる。
- 平成 4.12.2 消防ポンプ自動車1台を月舘町に譲渡する。
- 平成 5.1.29 東分署配置の消防ポンプ自動車1台更新する。
- 平成 5.2.14 完全週休2日制を実施する。
- 平成 5.3.26 福島県共済農業協同組合連合会より救急車(2B型)1 台寄贈され、中央消防署配置の救 急車(予備車)を更新する。
- 平成 5. 3.31 消防職員1名退職、総員143名となる。
- 平成 5.9.30 財団法人日本防火協会より防火広報車1台寄贈される。
- 平成 5 .10.31 消防職員1名退職、総員142名となる。
- 平成 6.3.10 中央消防署及び北分署配置の消防ポンプ自動車各1台更新する。
- 平成 6.3.31 消防職員1名退職、総員141名となる。
- 平成 6.4.1 福島県消防学校に職員1名を平成8年3月31日までの期間派遣する。
- 平成 6.6.30 消防職員1名退職、総員140名となる。
- 平成 6.9.13 消防本部配置の司令車1台を更新し、旧車両を連絡車として消防本部に配置する。
- 平成 6.9.30 消防本部配置の事務連絡車1台廃車する。
- 平成 7.1.24 東分署配置の水槽付消防ポンプ自動車1台更新する。
- 平成 7.3.31 消防職員1名退職、総員139名となる。
- 平成 7.6.30 消防職員1名退職、総員138名となる。
- 平成 7.7.9 水槽付消防ポンプ自動車1台を月舘町に譲渡する。
- 平成 7.9.13 消防本部配置の連絡車1台廃車する。
- 平成 7.9.26 南分署配置の水槽付消防ポンプ自動車1台更新する。
- 平成 8.4.1 消防職員3名採用、総員141名となる。
- 平成 8.9.20 中央消防署及び東分署配置の広報連絡車各1台更新する。
- 平成 8.10.14 西分署及び南分署配置の消防ポンプ自動車各1台更新する。
- 平成 8.10.25 消防ポンプ自動車1台を梁川町に譲渡する。
- 平成 8.12.25 消防本部に事務連絡車1台配置する。
- 平成 9.3.31 消防職員1名退職、総員140名となる。
- 平成 9.6.23 消防本部配置の査察車1台更新する。
- 平成 9.12.18 中央消防署配置の救急自動車を高規格救急自動車に更新する。
- 平成 10.4.1 高度救急業務を開始する。

消防職員3名採用、総員143名となる。

福島県消防防災航空隊に職員1名を平成13年3月31日までの期間派遣する。

平成 10.10.28 中央消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車1台更新する。

- 平成 10.11.13 水槽付消防ポンプ自動車1台を梁川町に譲渡する。
- 平成 11. 3. 8 西分署配置の救急自動車を高規格救急自動車に更新する。
- 平成 11. 3.30 福島綜合警備保障株式会社より広報連絡車(トヨタカルディナバン 1500cc)1 台寄贈され 南分署配置の広報連絡車を更新する。
- 平成 11. 3.31 消防職員1名退職、総員142名となる。
- 平成 11.11.29 西分署配置の化学消防ポンプ自動車1台更新する。
- 平成 12. 3.31 消防職員 1 名退職、総員 141 名となる。
- 平成 12. 4. 1 消防職員 4 名採用、総員 145 名となる。
- 平成 12. 9.30 消防職員 1 名退職、総員 144 名となる。
- 平成 12.11.28 南分署配置の救急自動車1台更新する。
- 平成 12.12. 8 西分署配置の高規格救急自動車1台を南分署に、南分署配置の救急自動車1台を西分署にそれぞれ配置替えする。
- 平成 13.1.10 中央消防署配置の救助工作車1台更新する。
- 平成 13. 3.31 消防職員 4 名退職、総員 140 名となる。
- 平成 13. 7.31 消防職員 1 名退職、総員 139 名となる。
- 平成 13.11.12 西分署配置の広報連絡車1台更新する。
- 平成 13.11.14 東分署及び北分署配置の救急自動車各1台更新する。
- 平成 14.2.6 消防本部配置の人員資器材搬送車1台更新する。
- 平成 14. 3.31 消防職員 1 名退職、総員 138 名となる。
- 平成 14. 4. 1 消防職員 5 名採用、総員 143 名となる。 福島県消防防災航空隊に職員 1 名を平成 16 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
- 平成 15. 2.26 北分署庁舎(鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建560.57 ㎡、建設事業費209,837千円) を梁川町希望ケ丘97番地の1に新築移転する。
- 平成 15. 4. 1 消防職員 3 名採用、総員 146 名となる。
- 平成 15. 6.30 全国共済農業協同組合連合会より救急車(2B型)1台寄贈され西分署配置の救急車1台 更新する。
- 平成 16. 3.31 消防職員 2 名退職、総員 144 名となる。
- 平成 16.4.1 消防職員3名採用、総員147名となる。
 - 福島県消防学校に職員1名を平成18年3月31日までの期間派遣する。
- 平成 16.10.23 新潟県中越地震被災地に緊急消防援助隊福島県隊として2隊5名派遣する。
- 平成 17. 3.31 消防職員 2 名退職、総員 145 名となる。
- 平成 17. 4. 1 消防職員 4 名採用、総員 149 名となる。
- 平成 17.11. 4 中央消防署に指揮兼照明車1台配置する。 北分署配置の広報連絡車1台更新する。
- 平成 18.1.1 伊達町、梁川町、保原町、霊山町及び月舘町が合併し、伊達市となり、1市4町で構成する消防組合となる。
- 平成 18. 3.31 消防職員 3 名退職、総員 146 名となる。
- 平成 18. 4. 1 消防職員 4 名採用、総員 150 名となる。
 - 福島県消防防災航空隊に職員1名を平成20年3月31日までの期間派遣する。
- 平成 18. 4.10 平成 18 年 1 月 1 日伊達市設置に伴い、福島県知事へ伊達地方消防組合規約変更の許可申請をする。
- 平成 18.5.1 福島県指令北振第69号をむって規約変更が許可される。
- 平成 19. 3.31 消防職員6名退職、総員 144 名となる。

- 平成 19. 4. 1 消防職員7名採用、総員 151 名となる。
- 平成 19.9.5 消防本部配置の防火広報車1台更新する。
- 平成 19.12.22 中央消防署配置の救急自動車(予備車)1台を高規格救急自動車に更新し、南分署に配置、南分署配置の救急自動車を中央消防署(予備車)に配置替えする。
- 平成 20.3.27 地方自治法の一部を改正する法律の施行により、収入役制度が会計管理者制度となった こと並びに平成 20 年 7 月 1 日をもって飯野町が福島市に編入合併となることに伴い、福 島県知事へ伊達地方消防組合規約変更の許可申請をする。
- 平成 20. 3.31 福島県指令北振第 7028 号をもって規約変更が許可される。 消防職員 7 名退職、総員 144 名となる。
- 平成 20. 4. 1 消防職員 8 名採用、総員 152 名となる。 福島県消防防災航空隊に職員 1 名を平成 22 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
- 平成 20. 5.14 東分署訓練場等拡張用地 957 m²を取得する。
- 平成 20. 6.14 岩手・宮城内陸地震被災地に緊急消防援助隊福島県隊として2隊6名派遣する。
- 平成 20.7.1 飯野町が福島市に編入合併したことに伴い、1市3町の消防組合となる。 福島市より旧伊達郡飯野町の区域における消防事務(消防団に関する事務並びに水利 施設の設置、維持及び管理に関する事務を除く。)の委託を受ける。
- 平成 20. 7.24 岩手県沿岸北部地震被災地に緊急消防援助隊福島県隊として2隊6名派遣する。
- 平成 20.10.31 東分署訓練場等敷地を拡張造成する。
- 平成 21. 2.20 財団法人日本消防協会より指揮広報車(スバルレガシー2000cc)1 台寄贈される。
- 平成 21. 3.12 財団法人日本消防協会寄贈の指揮広報車1台を消防本部に配置する。 東分署配置の消防ポンプ自動車1台更新する。 北分署配置の水槽付消防ポンプ自動車(圧縮泡消火システム搭載)1台更新する。
- 平成 21. 3.31 消防職員 10 名退職、総員 142 名となる。
- 平成 21. 4. 1 消防職員 9 名採用、総員 151 名となる。
- 平成 21. 12.22 中央消防署配置の高規格救急自動車1台及び資機材搬送車1台それぞれ更新する。
- 平成 22.2.8 北分署配置の消防ポンプ自動車1台更新する。
- 平成 22. 3.31 消防職員8名退職、総員143名となる。
- 平成 22. 4. 1 消防職員 10 名採用、総員 153 名となる。 福島県消防学校に職員1名を平成 24 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
- 平成 22.10. 1 家庭救命士制度創設。普通救命講習3回以上受講者に対し交付開始する。
- 平成 23. 3.11 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)発生、警防本部を設置のうえ、全職員体制で災害に対応する。大震災に伴い、東京電力福島第一原子力発電所で事故発生、放射能漏えいが起こる。福島県広域消防相互応援協定に基づき、浜通りで応援活動を行う。
- 平成 23.3.14 中央消防署配置のはしご付消防自動車1台更新する。
- 平成 23. 3.31 消防職員7名退職、総員146名となる。
- 平成 23. 4. 1 消防職員 7 名採用、総員 153 名となる。
- 平成 23. 4.22 原発事故の影響により、川俣町山木屋地区が、隣接の相馬郡飯舘村等とともに計画的避難区域に指定され、同地区住民が避難を強いられる。以後、居住者のいない山木屋地区で想定される火災の大規模化に対応するため、火災予防巡回を展開する。
- 平成 23. 5. 1 東日本大震災と原発事故の影響により、平成 23 年 4 月 1 日付予定の定期人事異動が 1 カ月遅れで行われる。
- 平成 23. 5.25 原発事故による警戒区域等からの避難者の一時帰宅に対し、傷病者発生時対応のため 平成 23 年 8 月 26 日まで延べ救急隊 21 隊及び支援隊 16 隊の派遣協力を行う。
- 平成 24. 2.20 中央消防署配置の消防ポンプ自動車 1 台及び同配置の水槽付消防ポンプ自動車(圧縮 泡消火システム搭載)1 台をそれぞれ更新する。旧水槽付消防ポンプ自動車は、東分署

に配置替えし、東分署の水槽付消防ポンプ自動車を、伊達市に譲渡する。

- 平成 24. 2.28 原発事故による計画的避難区域である川俣町山木屋地区の火災対応のため、南分署の水槽付消防ポンプ自動車と北分署の水槽付消防ポンプ自動車(圧縮泡消火システム搭載)を配置替えする。
- 平成 24. 3.28 全国共済農業協同組合連合会より高規格救急自動車1台寄贈される。
- 平成 24. 3.29 原発事故による計画的避難区域である川俣町山木屋地区の火災対応のため、大阪府高 槻市消防本部より、小型動力ポンプ付水槽車1台の無償譲渡を受ける。
- 平成 24. 3.31 消防職員 9 名退職、総員 144 名となる。
- 平成 24. 4. 1 消防職員 11 名採用、総員 155 名となる。

福島県消防学校に職員1名を平成26年3月31日までの期間派遣する。

- 平成 24. 4. 6 平成 24年3月28日全国共済農業協同組合連合会から寄贈された高規格救急自動車を 西分署に、平成 24年3月29日に大阪府高槻市消防本部から無償譲渡された小型動力 ポンプ付水槽車を南分署にそれぞれ配置する。
- 平成 25. 1.21 東分署配置の高規格救急自動車1台更新する。
- 平成 25. 2.12 南分署配置の水槽付消防ポンプ自動車1台更新する。
- 平成 25.3.31 消防職員3名退職、総員152名となる。
- 平成 25. 4. 1 消防職員 11 名採用、総員 163 名となる。

福島県消防防災航空隊に職員1名を平成28年3月31日までの期間派遣する。

伊達地方消防組合市町別・面積・世帯数・人口調

(平成25年4月1日現在)

		EΛ		ell III. Mer			
		区分	面積	世帯数)	Λ	П
市町別			(km²)	(世帯)	計(人)	男(人)	女(人)
伊	達	市	265.10	22,009	64,820	31,590	33,230
桑	折	町	42.97	4,498	12,645	6,015	6,630
国	見	町	37.90	3,333	10,004	4,817	5,187
ЛП	俣	町	127.66	5,568	15,181	7,468	7,713
	計		473.63	35,408	102,650	49,890	52,760
福 島 (事)	市 飯	野町区域)	21.31	1,872	5,649	2,777	2,872
合		計	494.94	37,280	108,299	52,667	55,632

[※]平成20年7月1日伊達郡飯野町が福島市に編入合併となったことに伴い、福島市より同区域における常備消防事務の委託を受ける。

伊達地方消防組合市町別・面積・人口・世帯数に対する消防力

(平成25年4月1日現在)

区分	管轄署(分署)	消防吏員	1人当り	消防団員	1人当り	消防ポンプ1台当り		
市町別	目特者(刀者)	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	面積㎢
伊達市保原町	消防本部·中央消防署							
伊達市梁川町	中央消防署北分署							
伊達市霊山町	中央消防署東分署			48.3	16.4	531.3	180.4	2.2
伊達市月舘町								
伊 達 市 (旧伊達町)		672.7	231.6					
桑 折 町	中央消防署西分署			38.0	13.5	468.3	166.6	1.6
国 見 町				39.9	13.3	454.7	151.5	1.7
川 俣 町	中央消防署南分署			29.7	10.9	361.5	132.6	3.0
福島市飯野町(事務受託区域)	T 大品奶有用刀有			_	_		_	_
1市3町及び事 務受託区域1	1 本 部・1 署・4 分 署	672.7	231.6	42.1	14.5	491.1	169.4	2.3

[※] 消防ポンプは団ポンプ、可搬ポンプも含む。

伊達地方消防組合管理者等及び組合議員等調

管 理 者 等

(平成25年6月1日現在)

職	名	氏			名	現	耵	戦	名	備	考
管 理	者	仁	志日	田 昇	司	伊	達	市	長		
副管理	者	高	橋	宣	博	桑	折	町	長		
"		太	田	久	雄	国	見	町	長		
"	古	Ш	道	郎	Ш	俣	町	長			
会 計 管 理	者	西	戸	哲	夫	伊道	虐市会	計管	理者		

組合議員

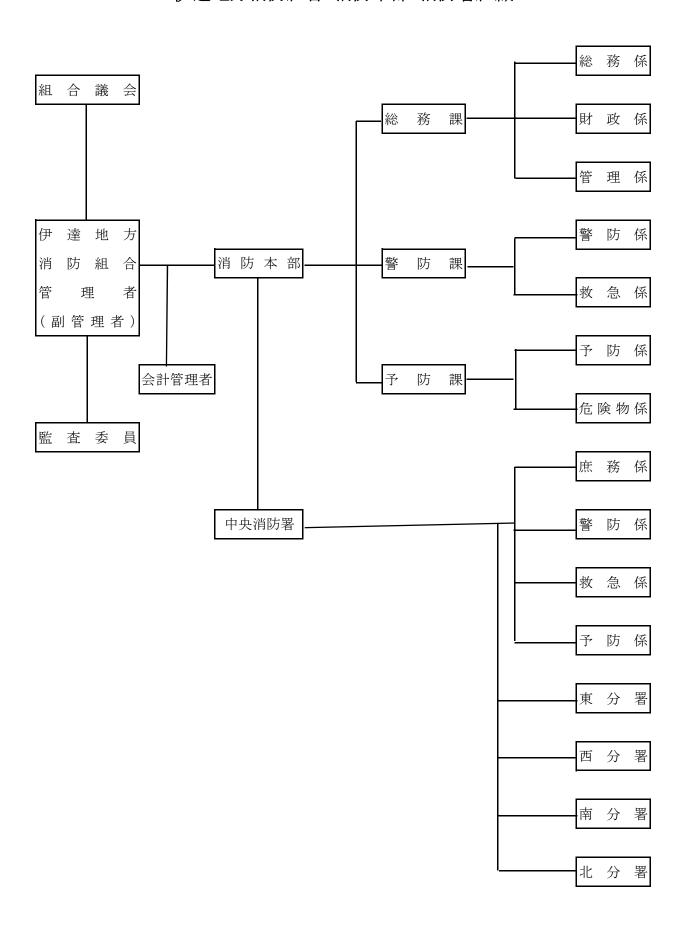
議		長	浅 野	富 男	国見町議会議員	
副	議	長	小 野	誠 滋	伊達市議会議員	
議		員	原	資 志	桑折町議会議員	
	<i>II</i>		佐 藤	武 朗	』 議会議員	
	<i>]]</i>		渡辺	勝弘	国見町議会議員	
	<i>II</i>		菅 野	喜 明	伊達市議会議員	
	<i>II</i>		大和田伯	发 一 郎	』 議会議員	
	<i>II</i>		佐々	木 彰	』 議会議員	
	<i>II</i>		佐 藤	実	』 議会議員	
	11		菅 野	富 夫	』 議会議員	
	<i>II</i>		半澤	隆	』 議会議員	
	<i>II</i>		高 橋 真	一郎	川俣町議会議員	
	11		鴫原	利 光	』 議会議員	

監査委員

委	員	佐	藤	静	雄	識	見	ı	者
IJ		菅	野	喜	明	議	会	選	田

総 務

伊達地方消防組合•消防本部•消防署組織



伊達地方消防組合消防本部•消防署(分署)事務分掌

消防本部事務分掌

総 務 課

- 1 組織及び総合企画、調整に関すること。
- 2 職員の任免、分限、懲戒、服務その他身分に関すること。
- 3 職員の給与その他勤務条件に関すること。
- 4 条例、規則及び規程等に関すること。
- 5 公印の管理に関すること。
- 6 叙位、叙勲及び表彰に関すること。
- 7 文書の収受、発送、編集及び保存に関すること。
- 8 職員の教養及び研修に関すること。
- 9 財務に関すること。
- 10 職員の服制に関すること。
- 11 職員の給貸与品に関すること。
- 12 職員の健康管理及び福利厚生に関すること。
- 13 職員の公務災害等補償に関すること。
- 14 職員の共済事務等に関すること。
- 15 消防の広報及び消防統計に関すること。
- 16 消防長会に関すること。
- 17 消防施設の維持管理及び営繕に関すること。
- 18 伊達地方消防組合事務に関すること。
- 19 その他特命事項に関すること。
- 20 その他、他の主管に属さない事項に関すること。

警 防 課

- 1 火災その他災害の警戒及び防ぎょに関すること。
- 2 消防計画及び訓練に関すること。
- 3 消防対策の企画立案及び総合調整に関すること。

- 4 消防通信に関すること。
- 5 消防の地理、水利に関すること。
- 6 消防車両の整備に関すること。
- 7 各種消防装備資器材等の整備、管理に関すること。
- 8 消防装備資器材の取り扱い及び技術開発研究に関すること。
- 9 警防隊の総合運用に関すること。
- 10 職員の教養訓練に関すること。
- 11 救急業務に関すること。
- 12 防災及び救急医療機関との連絡調整に関すること。
- 13 救助業務に関すること。
- 14 特命救助隊に関すること。
- 15 消防相互応援に関すること。
- 16 警防、救急、救助統計及び消防情報に関すること。
- 17 救急隊及び救助隊の運用に関すること。
- 18 救急知識の普及向上に関すること。
- 19 災害防除及び救助技術の研究、指導、訓練に関すること。
- 20 職員の安全管理に関すること。
- 21 救急及び救助用装備資器材の整備、管理に関すること。
- 22 災害の受付及び出場指令に関すること。
- 23 災害通信の運用及び通信統制に関すること。
- 24 救急搬送証明に関すること。
- 25 防災会議及び災害対策本部に関すること。
- 26 消防団との連絡協調に関すること。
- 27 消防協会伊達支部に関すること。
- 28 その他特命事項に関すること。
- 29 その他、他の主管に属さない警防事務に関すること。

予 防 課

- 1 火災予防対策の企画及び総合調整に関すること。
- 2 防火思想の普及向上に関すること。

- 3 予防査察に関すること。
- 4 建築物の許可、認可又は確認同意に関すること。
- 5 火災気象通報の伝達及び火災警報の発令等に関すること。
- 6 火災原因、損害の調査並びに火災報告に関すること。
- 7 予防統計及び予防情報に関すること。
- 8 予防広報及び広聴に関すること。
- 9 危険物の規制及び保安に関すること。
- 10 液化石油ガス販売施設の意見書に関すること。
- 11 火災予防条例に関すること。
- 12 防火管理に関すること。
- 13 消防用設備等の指導及び検査に関すること。
- 14 り災証明に関すること。
- 15 報道関係機関との連絡に関すること。
- 16 自主防災組織の育成、指導に関すること。
- 17 危険物安全協会に関すること。
- 18 消防設備士協会に関すること。
- 19 予防用資器材の整備及び管理に関すること。
- 20 その他特命事項に関すること。
- 21 その他、他の主管に属さない予防事務に関すること。

中央消防署事務分掌

庶 務 係

- 1 公印の管理に関すること。
- 2 文書の収受、発送及び保存に関すること。
- 3 職員の服務に関すること。
- 4 職員の給与の支給に関すること。
- 5 職員の健康管理及び福利厚生に関すること。
- 6 職員の被服等の給貸与に関すること。
- 7 庁舎の維持管理に関すること。
- 8 庁舎内設備の点検、整備及び使用に関すること。
- 9 分署に関すること。
- 10 その他、他の主管に属さない事項に関すること。

警防第1係、警防第2係、警防第3係

- 1 火災等災害の警戒及び鎮圧に関すること。
- 2. 警防、救急隊の編成及び運用に関すること。
- 3. 救助隊の編成及び運用に関すること。
- 4 消防計画の運用に関すること。
- 5 車両の点検、整備及び管理に関すること。
- 6 消防、救助、救急用機械器具及び設備の点検、整備及び運用に関すること。
- 7 職員の教養訓練に関すること。
- 8 装備及び資材に関すること。
- 9 消防の地理及び水利の調査並びに水利の確保に関すること。
- 10 災害現場における警戒区域の設定に関すること。
- 11 警防調査に関すること。
- 12 消防団との連絡及び協同行動に関すること。
- 13 自衛消防隊の指導に関すること。
- 14 相互応援の実施に関すること。
- 15 その他、他の主管に属さない警防、救急及び救助に関すること。

救急第1係、救急第2係、救急第3係

- 1 救急隊の編成及び運用に関すること。
- 2 救急用機械器具及び設備の点検、整備及び運用に関すること。
- 3 その他、他の主管に属さない救急に関すること。

予防第1係、予防第2係、予防第3係

- 1 火災等災害予防の企画及び指導に関すること。
- 2 火災等災害の原因調査及び損害調査に関すること。
- 3 消防対象物等の防火査察、指導及び取締りに関すること。
- 4 危険物規制の調査、指導及び取締りに関すること。
- 5 防火管理の指導に関すること。
- 6 建築許可等の同意事務の調査に関すること。
- 7 火災等災害気象の通報及び警報の伝達に関すること。
- 8 屋外における火災予防に関すること。
- 9 火の使用の制限に関すること。
- 10 火災予防思想の普及宣伝に関すること。
- 11 火災等災害報告に関すること。
- 12 火災予防条例関係の届出に関すること。
- 13 防火協力団体の指導に関すること。
- 14 その他、他の主管に属さない火災等災害予防に関すること。

分署事務分掌

庶 務 係

- 1 文書の収受、発送及び保存に関すること。
- 2 職員の服務に関すること。
- 3 職員の健康管理に関すること。
- 4 庁舎の維持管理に関すること。
- 5 庁舎内設備の点検、整備及び使用に関すること。
- 6 その他、他の主管に属さない庶務に関すること。

警防救急係

- 1 火災等災害の警戒及び鎮圧に関すること。
- 2 警防、救急及び救助活動並びに訓練に関すること。
- 3 警防隊及び救急隊の編成、運用に関すること。
- 4 車両の点検、整備及び管理に関すること。
- 5 消防、救急用機械器具及び設備の点検、整備に関すること。
- 6 装備及び資材に関すること。
- 7 消防の地理及び水利の調査並びに水利の確保に関すること。
- 8 警防調査に関すること。
- 9 消防団との連絡及び協同行動に関すること。
- 10 自衛消防隊の指導に関すること。
- 11 その他、他の主管に属さない警防、救急に関すること。

予 防 係

- 1 消防対象物等の防火査察、指導及び取締りに関すること。
- 2 火災等災害の原因調査及び損害調査に関すること。
- 3 火災等災害気象の通報及び警報の伝達に関すること。
- 4 屋外における火災予防に関すること。
- 5 火の使用の制限に関すること。
- 6 火災予防思想の普及宣伝に関すること。
- 7 火災等災害報告に関すること。
- 8 火災予防条例関係の届出に関すること。
- 9 防火協力団体の指導に関すること。
- 10 その他、他の主管に属さない火災等災害予防に関すること。

消防機関所在地

名称	所在地	電話番号	郵便番号				
伊達地方消防組合	伊達市保原町大泉字大地内 93-1	TEL 024-575-4101	960-0634				
消 防 本 部	伊连印床原町八水子八地門 93-1	FAX 024-575-4103	900-0034				
 中 央 消 防 署	,,	TEL 024-575-4101	"				
	"	FAX 024-575-4124	"				
	 伊達市霊山町下小国字畑尻 45-3	TEL 024-586-1254	960-0808				
十 人 们 奶 有 术 刀 有		FAX 024-586-3430	300 0000				
 中 央 消 防 署 西 分 署		TEL 024-582-3190	969-1661				
十 人 们 奶 有 臼 刀 有	来训MJ八丁工和于来 0	FAX 024-582-4904	303 1001				
 中央消防署南分署		TEL 024-566-2145	960-1428				
下 大 们 奶 有 用 刀 有	/川宋町 子五日 田 31	FAX 024-566-4406	900 1420				
中电池防黑北公里	 伊達市梁川町希望ヶ丘 97-1	TEL 024-577-1244	960-0729				
下大伯的有礼刀有	ア建川米川町東ヶ丘91-1	FAX 024-577-4469	900 0129				



←消防本部・中央消防署

東分署→





←西分署



南分署→



←北分署

消防訓練塔





消防庁舎の現状

名	称			区分	敷地面積 ㎡	構造	建築延面積 ㎡	建築年月日
消 — 中	D 央	方 ——— 消	本防	部 署		鉄筋コンクリート造 3 階建	1, 081. 96	昭和 47.3
高	所	訓	練	塔		鉄筋コンクリート造 5 階建	245. 0	昭和 56.2
耐素	內耐煙	訓練均	答兼補	助塔	5, 864	鉄筋コンクリート 2 階建	495. 5	昭和 56.2
車	庫	兼	计材	庫		鉄骨ブロック造平屋建	60. 0	昭和 61.7
東		分		署	1, 988	鉄筋コンクリート造 2 階建	377.71	昭和 47.3
西		分		署	2, 005	鉄筋コンクリート造 2 階建	570. 92	昭和 48.3
南		分		署	1, 441	鉄骨ブロック造 2 階建	465. 23	昭和 44.10
北		分		署	2, 113	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造 ー 部 部 鉄 骨 造 2 階 建	560. 57	平成 15.2

平成25年度一般会計予算

歳 入 (単位:千円)

		款			本	年	度額	左の構成率	前予	年	度額	左の構成率		比	較
						A		%		В		%	A –	В	(A – B) %
1	分担	金及	び負	担金	1	1,444,	300	83.3]	1,444	,300	94.6		0	0.0
2	使用	料及	び手	数料			723	0.1			723	0.1		0	0.0
3	県	支	出	金		14,	500	0.8		16	,000	1.0	△ 1	,500	△ 9.4
4	財	産	収	入			101	0.0			26	0.0		75	288.5
5	寄	ßf	\	金			1	0.0			1	0.0		0	0.0
6	繰	J	(金		19,	800	1.1			0	0.0	19	9,800	皆増
7	繰	起	戉	金		3,	000	0.2		3	,000	0.2		0	0.0
8	諸	Ц	Z	入		16,	875	1.0		11	,850	0.8	5	5,025	42.4
9	組	É	7	債		234,	700	13.5		51	,100	3.3	183	3,600	359.3
	歳	入台	合 計		1	1,734,	000	100.0]	1,527	,000	100.0	207	7,000	13.6

歳 出 (単位:千円)

		款		本 年 度 予 算 額	左の構成率	前 年 度	左の構成率	比	較
				A	%	В	%	А — В	(A-B) %
1	議	会	費	1,253	0.1	1,248	0.1	5	0.4
2	総	務	費	45,719	2.6	35,806	2.3	9,913	27.7
3	消	防	費	1,647,516	95.0	1,455,017	95.3	192,499	13.2
4	公	債	費	35,534	2.1	31,056	2.0	4,478	14.4
5	予	備	費	3,978	0.2	3,873	0.3	105	2.7
	歳	出合詞	H	1,734,000	100.0	1,527,000	100.0	207,000	13.6

職員配置状況調

(平成25年4月1日現在)

						階級							(1 7-22-	29年4月 1	
区分		<u> </u>	_		<u> </u>	人員	消防監	消 防司令長	消防司令	消 防司令補	消防土長	消 防副士長	消防士	その他の職員	毎日勤 務者数
É	ì			計		163	1	5	39	41	20		55	2	33
	消		防		長	1	1								1
	次				長	1		1							1
	総	務		課	툿	(1)		(1)							
	総	務	課	主	幹	2			1					1	2
消	総		務		係	3			1		1			1	3
713	管		理		係	(1)			(1)						
	財		政		係	2			1	1					2
防	警	防		課	長	1		1							1
	警	防 課	課	長補	佐	1			1						1
本	警		防		係	2			1	1					1
	救		急		係	2			1	1					1
÷17	予	防		課	툱	1		1							1
部	予	防	課	主	幹	2			2						2
	予		防		係	(1)1			(1)	1					
	危	険	•	物	係	(1)1			(1)	1					1
	消	防	本	部	付	10				1	1		8		10
			計			30	1	3	8	6	2		8	2	27
	署				長	1		1							1
	次				長	1		1							1
中	Ħ	幹(当直	司令	令)	3			(3)						
	庶		務		係	(10)5			1	(1)	(2)		(7)4		
央	警		防		係	(3)12			3	(2)2	2		5		
消	救		急		係	(4)7			3	(1)3	1		(3)		
/13	予		防		係	(2)10			(3)	(1)2			(1)5		
防	東		分		署	22			4	7	2		9		1
	西		分		署	25			5	8	3		9		1
署	南		分		署	25			5	7	5		8		1
	北		分		署	22			4	6	5		7		1
			計			133		2	31	35	18		47		6

(注):()は兼務を示す。

職員階級別勤続年数調

(平成25年4月1日現在)

								(十),及2	5年4月1	1 201177
年数	階級	計	消防監	消防 司令長	消防司令	消防 司令補	消防士長	消防 副士長	消防士	その他 の職員
1年未満		11							11	
1年以上	2年未満	11							11	
2年以上	3年未満	7							7	
3年以上	4年未満	10							10	
4年以上	5年未満	9							9	
5年以上	6年未満	8					1		7	
6年以上	7年未満	7					7			
7年以上	8年未満	3					3			
8年以上	9年未満	4					4			
9年以上	10年未満	3				2	1			
10年以上	11年未満	3				1	2			
11年以上	12年未満	5				3	2			
12年以上	13年未満									
13年以上	14年未満	4				4				
14年以上	15年未満									
15年以上	16年未満	3				3				
16年以上	17年未満									
17年以上	18年未満	3				3				
18年以上	19年未満									
19年以上	20年未満									
20年以上	21年未満									
21年以上	22年未満	3				3				
22年以上	23年未満									
23年以上	24年未満									
24年以上	25年未満									
25年以上	26年未満	2				2				
26年以上	27年未満									
27年以上	28年未満									
28年以上	29年未満	4			2	2				
29年以上	30年未満									
30年以上		63	1	5	37	18				2
合	計	163	1	5	39	41	20		55	2
平均	年 数	18. 68	40. 92	40. 74	36. 75	24. 78	7. 55		2. 29	37. 00

職員階級別年齢調

(平成25年4月1日現在)

							(双25年4月	
年齢	計	消防監	消防司令長	消防司令	消防 司令補	消防士長	消防 副士長	消防士	その他 の職員
20 歳 以下	19							19	
21歳~25歳	32					1		31	
26歳~30歳	24					19		5	
31歳~35歳	13				13				
36歳~40歳	6				6				
41歳~45歳	2				2				
46歳~50歳	12			6	6				
51歳~55歳	18			11	7				
56 歳 以上	37	1	5	22	7				2
合 計	163	1	5	39	41	20		55	2
平均年齢	38.41	59.75	59.07	55.57	44.25	27.91		22.75	57.59

職員市町村別居住地調

(平成25年4月1日現在)

年齢	\	階級	11-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	消防監	消防 司令長	消防司令	消防 司令補	消防士長	消防 副士長	消防士	その他 の職員
伊	達	市	90	1	4	24	19	10		30	2
桑	折	町	18		1	6	4	2		5	
国	見	町	12			3	4	1		4	
Щ	俣	町	21			5	8	4		4	
福	島	市	21			1	6	2		12	
玉	Ш	村						1			
合		計	163	1	5	39	41	20		55	2

職員研修状況調

(平成24年4月~平成25年3月)

									() ///	.24 年 4.	\ 1	147/100	- / · /
						人	階	й	汲	別	Þ	7	訳
区					分		消防	消防司令	消防司	消防司令	消防士	消防副士	消防
						員	監	長	令	補	長	長	士
福	初	任		教	育	11							11
島	特	殊	災	害	科	1				1			
	火	災	調	查	科	1					1		
県	救		急		科	7							7
消	初	級	幹	部	科	2					2		
防	救		助		科	1				1			
274	救為	急救命士	養成	補助参	育 科	2					2		
学	指	揮	隊	長	科	3			3				
校	危	険		物	科	1				1			
大消 学 校防	幹		部		科	1			1				
救	急	救 命	士 養	成	研 修	2					2		
薬	剤	投 与	追	加言	井 習	1				1			
		į	計			33			4	4	7		18

職員特殊技能その他資格取得者調

平成25年4月1日現在

									平	成25年4月	11日現在
種別		階級	消防監	消防司令長	消 防司 令	消 防司令補	消防士長	消 防副士長	消防士	その他の職員	計
		大型	1	3	24	30	20		26		104
	自動車運	中型									0
	転免許等	中型(8t中型限定)		2	15	11			3	2	33
		普通							26		26
	小型船舶排	· · · · ·	1		10	16	2				29
	潜水士		1			7	1				9
	日本赤十字社	水上安全法救助員		2	5	1			2		10
	高所作業項	車技能				1					1
	小型移動式	ズクレーン技能講習			7	14	6		3		30
警	玉掛け技能	上講習			7	14	4		2		27
防・	巻上げ機材	成運転特別教育			5	10	1				16
救	酸素欠乏等危	険作業主任者技能講習				6	1				7
急関	ガス溶接技	定能講習			6	11	5		5		27
連		救急救命士			10	19	4		1		34
		気管挿管			9	18	4		1		32
		薬剤投与			4	8	1		1		14
		Ⅲ課程		4	37	22					63
	救急	I課程			1						1
		救急科(旧標準課程含む)				19	17		33		69
		ACLS			10	10					20
		JPTEC			5	18	9		13		45
		BLS			2	7	7		18		34
	特殊無線技	支士	1	4	10	21	10		22		68
		防火査察				9	16		11		36
	予防技術 検定	危険物				3	2				5
	1,5,5	消防用設備等				2					2
予	危険物	甲種		1	1						2
防関	取扱者	乙種	1	3	16	17	18		30		85
連	消防	甲種		1							1
	設備士	乙種			6	3			1		10
	防火対象物	勿点検資格者			1						1
	電気工事	Ŀ		1	1		1		2		5
そ	火薬類取扱保安責任者										0
\mathcal{O}	衛生管理和	发		1	1	1				1	4
他	特定化学特	物質等作業主任者		1	3	5				1	10

火 災 統 計

平成25年度全国統一防火標語

消すまでは 心の警報 ONのまま

平成24年火災概要

1 火災件数

総出火件数は41件で、前年の36件に比べ、5件(13.8%)の増加となった。

火災種別ごとの内訳(割合)でみると、建物火災が32件(78.1%)、林野火災が2件(4.9%)、車両火災が1件(2.4%)及びその他火災が6件(14.6%)となっており、建物火災の占める割合が非常に高い。中でも住宅火災は20件(前年比6件増)となり、総出火件数の約半数を占めている。

市町別に火災の発生状況をみると、伊達市が28件(前年比11件増)、次いで川俣町9件(前年比同)、 国見町2件(同1件増)、桑折町1件(同4件減)及び福島市飯野町1件(同2件減)となった。

2 焼損棟数及び焼損面積

焼損棟数は53棟で、前年に比べ4棟増加している。

焼損程度別にみると、全焼が21棟(焼損棟数比39.6%)、半焼が2棟(同3.8%)、部分焼が21棟(同39.6%)、ぼやが9棟(同17%)で、建物火災1件あたりの焼損棟数は1.7棟(前年比1棟減)であった。

林野火災における焼損面積については、37aと前年に比べ73a減少した。

3 死者及び傷者

火災による死者は3名で前年比同、傷者は7名で前年比2名増となった。

死者2名(放火自殺者1名を除く)については、それぞれ住宅火災によるもので、住宅用火災警報器(以下「住警器」という)は設置されていなかった。

住宅火災による死者を無くすために、今後も住警器を設置していない世帯への設置指導と、設置後の維持管理の指導について、今後も進めていく必要がある。

4 損害額

損害額は、1億5371万1千円で、前年に比べると5644万円増加した。 1日平均でみると、42万1千円で、前年と比べると15万5千円増加した。

5 出火原因

出火原因を原因別(その他及び不明を除く)にみると、取灰7件が最も多く、次いでたき火5件、ストーブ3件、火遊び、放火の疑い、マッチ・ライター、電気装置及び電気配線短絡がそれぞれ2件、放火、こんる、ボイラー、煙突及び排気管がそれぞれ1件と続いている。

取灰やたき火の不始末、ストーブの取扱い不備など、人的ミスによる火災が多く発生している。

平成24年火災総括表

	市町名	伊達市	旧 伊 達	旧梁川	旧 保 原	旧 霊 山	旧月舘	桑 折 町	国見町	川 俣 町	飯福野島町市	東北道	合計	前 年 同
区分	±1		町	町	町	町	町			. ,		.	44	期
	計	28	4	7	10	4	3	1	2	9	1		41	36
	建物	22 11	3 2	5 2	9 5	3 1	2 1	1 1	2 1	6 6	1 1		32 20	18 14
出火件数	林野									2			2	4
	車両	1				1							1	3
	その他	5	1	2	1		1			1			6	11
	計	40	3	8	15	3	11	1	3	8	1		53	49
	全焼	17		5	5	1	6		1	3			21	24
焼損棟数	半焼	1		1						1			2	3
	部分焼	14	1	2	5	2	4	1	2	3	1		21	18
	ぼや	8	2		5		1			1			9	4
	計	11	2	1	7	1		1	1	4	1		18	24
罹災世帯	全損	2		1	1				1	1			4	12
惟火也市	半損									1			1	1
	小損	9	2		6	1		1		2	1		13	11
罹災	人員	22	4	4	12	2		2	3	17	4		48	69
死傷者	死者			1					1	1			3	3
20 杨苷	傷者	7	3	2	2								7	5
	建物(床)	2219	8	505	1512	20	174		375	250	1		2845	2727
焼損面積	建物(表)	138		56	6	3	73	2	16	26			182	186
	林野(a)									37			37	110
	計	139355	3097	14836	116041	567	4814	5	8897	5431	23		153711	97271
	建物	138527	3097	14836	115533	287	4774	5	8773	5431	23		152759	94469
損害額	林野													29
	車両	820			500	280	40		112				932	2731
	その他	8			8				12				20	42

建物火災のうち右下の数値は住宅火災の件数

火災概況及び比較表

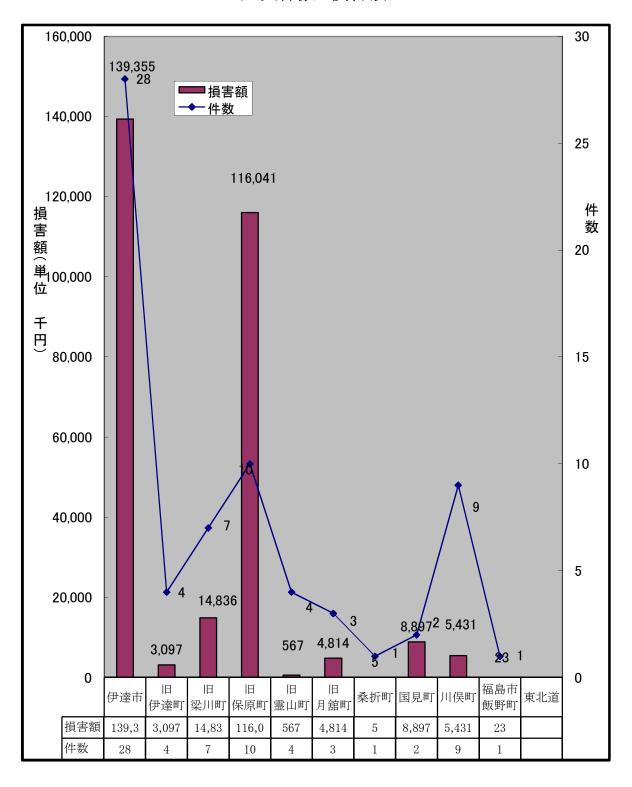
区分	<u> </u>		年別	平成24年 (A)	平成23年 (B)	対前年増減数 (A)-(B)=(C)	増減率(C)÷ (B)×100%
1.		合	計	41	36	5	13.9
<i>y</i>	\ \ \	建物	匆 火 災	32	18	14	77.8
火災発生件数		林里	野 火 災	2	4	△ 2	△ 50.0
		車同	5 火 災	1	3	\triangle 2	△ 66.7
<i>></i>	~	その	他火災	6	11	△ 5	\triangle 45.5
		合	計	53	49	4	8.2
烤	ŧ	全	焼	21	24	△ 3	△ 12.5
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	i 東	半	焼	2	3	△ 1	△ 33.3
娄	女	部	分 焼	21	18	3	16.7
		ぼ	P	9	4	5	125.0
烤	崔	建物	(床) m²	2,845	2,727	118	4.3
罗 拉 正		建物	(表) m²	182	186	△ 4	△ 2.2
積	貞	林	野 a	37	110	△ 73	△ 66.4
		合	計	18	24	△ 6	△ 25.0
	世帯数	全	損	4	12	△ 8	△ 66.7
罹災		半	損	1	1	0	0.0
		小	損	13	11	2	18.2
		人	員	48	69	△ 21	△ 30.4
推		合	計	153,711	97,271	56,440	58.0
推 害 名	手 首	建	物	152,759	94,469	58,290	61.7
		林	野		29	△ 29	_
子 円	7	車	両	932	2,731	△ 1,799	△ 65.9
)		そ	の他	20	42	△ 22	△ 52.4
歹 傷		死	者	3	3	0	0.0
者		負	傷者	7	5	2	40.0
1 ⊨	平均	損害都	頁(千円)	421	266	155	58.3
建物	火災の)み1件	平均損害額	4,774	5,248	△ 474	△ 9.0
建物	火災の	D み1日	平均損害額	419	259	160	61.6

市町別・月別火災発生状況

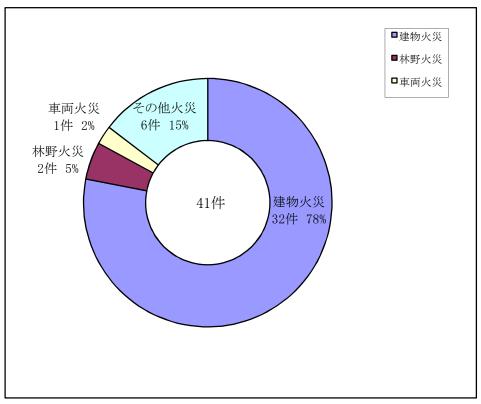
市町別月別	伊達市	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町	桑折町	国見町	川 俣 町	飯福野島町市	東北道	合計	前年計
1	2		1	1					1			3	1 (1)
2	1			1					1			2	6 (1)
3	3	1	1			1		1 (1)	1			5 (1)	5
4	7		2	2	2	1			2			9	6
5	1				1							1	8
6	3	2			1							3	2
7	1			1					1			2	1 (1)
8	1			1					1			2	3
9	3	1		1		1	1		1	1		6	1
10	(1)								1 (1)			1 (1)	
11	5		3 (1)	2								5 (1)	1
12	1			1				1				2	2
合計	28 (1)	4	7	10	4	3	1	2	9	1	0	41 (3)	
前年計	17 (1)	1	9 (1)	3	1	3	5 (1)	1	9 (1)	3	1		36 (3)
増減数	11	3	△ 2	7	3	0	△ 4	1	0	△ 2	Δ1		5

※ ()内は火災による死者数

火災件数と損害額

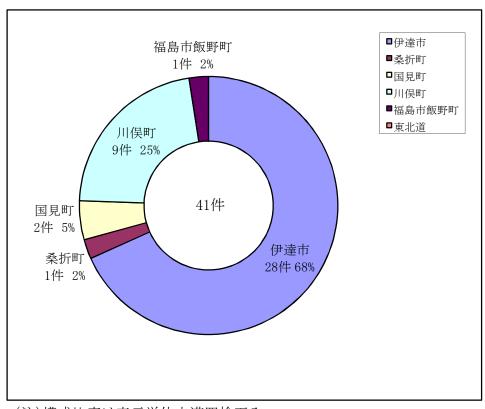


火災種別発生率



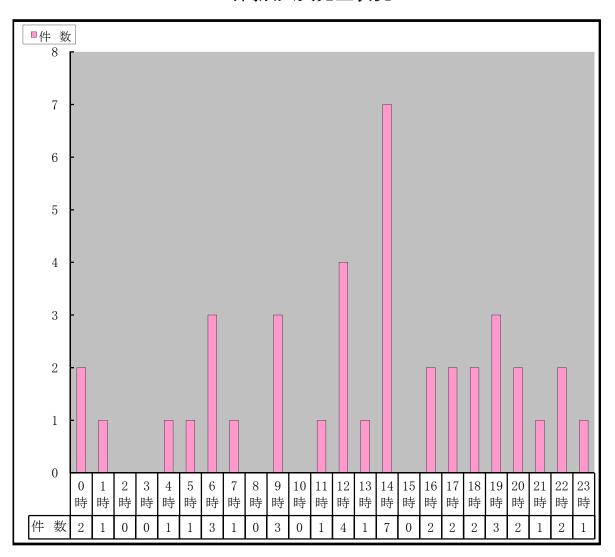
(注)構成比率は表示単位未満四捨五入

市町別火災発生率



(注)構成比率は表示単位未満四捨五入

時間別火災発生状況



覚知方法別出火件数

覚知別	出火件数(件)	構成比(%)
火災報知専用電話(119)	14	34%
火災報知専用電話(携帯)	18	44%
加入電話	4	10%
事後聞知	4	10%
その他	1	2%
合計	41	100%

(注)構成比は、表示単位未満四捨五入。

出火率の推移

/ 市	年別 町別	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年
	伊達市				4.1	6.2	3.7	4.1	3.4	2.6	4.3
	旧伊達町	0.0	3.6	3.7							
	旧梁川町	8.7	7.1	3.8							
	旧保原町	3.2	5.6	4.8							
	旧霊山町	8.4	3.0	7.3							
	旧月舘町	0.0	17.3	4.4							
	桑折町	4.4	2.9	2.9	4.4	2.2	5.3	3.7	3	3.9	0.8
	国見町	7.3	7.2	3.6	3.7	5.6	1.9	7.6	1.9	1	2.0
	川俣町	6.9	8.9	6.2	4.6	6.1	3.1	4.6	3.1	6	6.1
福	島市飯野町	4.5	14.8	4.4	4.5	3.1	3.2	6.5	6.5	5.2	1.7
	伊達管内	5.4	6.8	4.6	4.2	5.4	3.7	4.5	3.4	3.2	3.8
	福島県	5.8	5.7	4.3	4.6	4.5	4.0	4.3	3.5	3.4	3.4
	全国	4.4	4.8	4.5	4.2	4.3	4.1	4.0	3.6	3.2	3.2

- (注)1 桑折町、国見町は東北自動車道における火災を除く。 2 出火率とは、人口1万人あたりの出火件数をいう。

 - 3 人口は、各市町4月1日現在の推計人口。

火災による死傷者の推移

(単位:人)

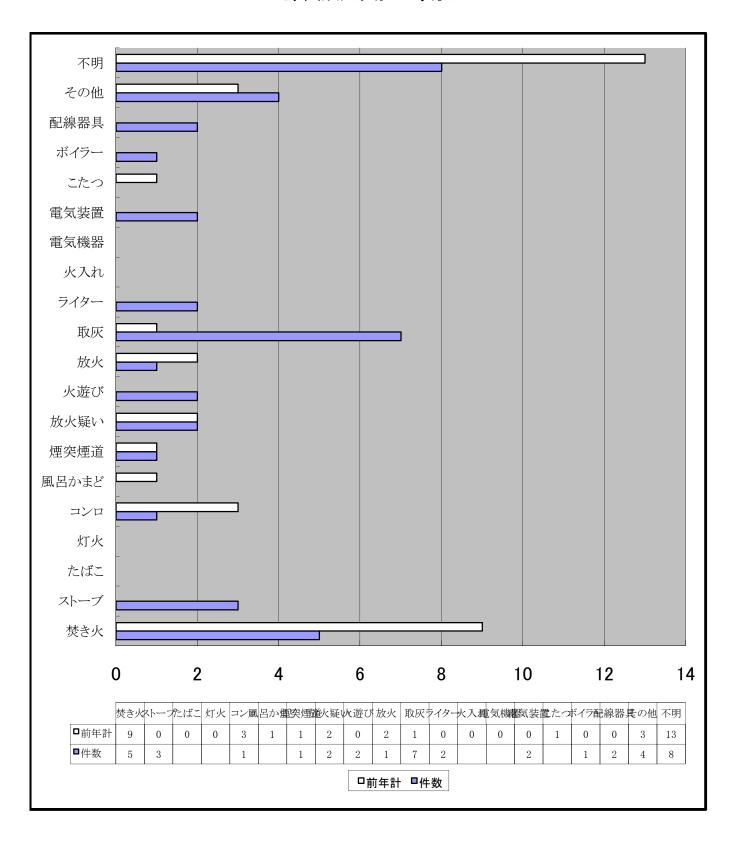
区分	年別	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年
	死者	4	2	1	3	1	2	5	1	3	3
	放火自殺	2	0	0	3	0	0	0	0	2	1
	負傷者	11	19	6	4	6	5	6	9	5	7

過去5年間における各市町火災発生状況

(損害額 単位:千円)

						(頂舌領	单位:下门/
市町別	市町別 区分		平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	合計
伊達市	出火件数	25	28	23	17	28	121
伊连川	損害額	46,419	43,718	68857	46001	139355	344,350
旧伊達町	出火件数	5	7	9	1	4	26
	損害額	11,225	9,902	15680	5	3097	39,909
	出火件数	7	3	5	9	7	31
	損害額	20,007	1,990	19277	42300	14836	98,410
旧保原町	出火件数	6	6	3	3	10	28
	損害額	4,207	3,440	8011	1839	116041	133,538
 旧霊山岡	出火件数	6	8	3	1	4	22
山平江村	損害額	10,980	25,390	9835	1857	567	48,629
旧月舘町	出火件数	1	4	3	3	3	14
1日入1日日に	損害額	0	2,996	16054		4814	23,864
桑折町	出火件数	7	5	4	5	1	22
米 切11.1	損害額	1,697	11,806	44813	596	5	58,917
国見町	出火件数	2	8	2	1	2	15
国九门	損害額	1,851	91,449	105	9	8897	102,311
川俣町	出火件数	5	7	5	9	9	35
7.1100.1	損害額	2,232	23,702	13588	46262	5431	91,215
福島市飯野町	出火件数	2	4	4	3	1	14
шшлимх	損害額	52	31,632	16154	4403	23	52,264
東北道	出火件数	0	0	1	1		2
/NILLA	損害額	0	0	200			200
合 計	出火件数	41	52	39	36	41	209
Н НІ	損害額	52,251	202,307	143,717	97,271	153,711	649,257

原因別火災発生状況



気象別出火件数調(湿度)

度月別	40%以下	40 % を 越 え 50%以下	50 % を 越 え 60%以下	60 % を 越 え 70%以下	70 % を 越 え 80%以下	80 % を 越 え 90%以下	90%越え	計
1月			1		1	1		3
2月		1			1			2
3月			1	2			2	5
4月	2	1	2	1	2	1		9
5月				1				1
6月					1	2		3
7月				1	1			2
8月				1		1		2
9月					2	2	2	6
10月						1		1
11月		1	1	1	_	2		5
12月			_			1	1	2
計	2	3	5	7	8	11	5	41

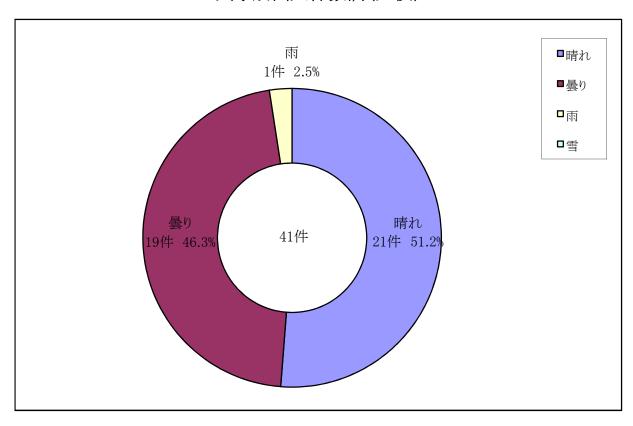
気象別出火件数調(風速)

風速 月別	1 m 以 下	2 m	3 m	4 m	5 m	6 m	7 m	8 m	9 m	10 m	11 m	12 m 以 上	≅ -
1月	2		1										3
2月		1		1									2
3月	3			1			1						5
4月	4	3										2	9
5月	1												1
6月		1		2									3
7月	1	1											2
8月	1				1								2
9月	4	1	1										6
10月		1											1
11月		2	2				1						5
12月		1		1									2
計	16	11	4	5	1	0	2	0	0	0	0	2	41

曜日別出火件数調

月別	日	月	火	水	木	金	土	計
1月	2	0	0	0	0	1	0	3
2月	0	0	1	0	0	0	1	2
3月	0	1	0	0	3	0	1	5
4月	2	2	3	1	0	1	0	9
5月	0	0	0	0	1	0	0	1
6月	1	0	0	0	0	1	1	3
7月	0	0	1	0	0	1	0	2
8月	0	0	0	0	1	1	0	2
9月	2	1	0	0	1	1	1	6
10月	0	0	1	0	0	0	0	1
11月	1	0	1	1	0	1	1	5
12月	1	0	0	0	0	0	1	2
計	9	4	7	2	6	7	6	41

気象別出火件数調(天候)



(注) 構成比率は表示単位未満四捨五入。

全国及び福島県の火災記録(10年間)

	区分	Jc (((/H- */r	このは、ままれ	焼損	面積	損害額	元之	作耂
年·国·県別		火災件数	罹災世帯数	建物(㎡)	林野(a)	(千円)	死者	傷者
平成15年	全国	56,329	29,362	1,626,146	105,041	145,392,787	2,254	8,446
	福島県	1,219	531	52,197	3,417	2,779,678	67	170
平成16年	全国	60,394	29,779	1,573,642	156,735	134,915,488	1,993	8,646
	福島県	1,205	509	52,592	4,488	2,837,053	45	155
平成17年	全国	57,487	29,936	1,555,831	110,223	157,576,400	2,197	8,854
	福島県	915	451	42,892	7,563	3,721,132	57	125
平成18年	全国	53,260	29,125	1,385,310	84,280	116,585,589	2,066	8,538
	福島県	959	472	34,756	1,262	2,279,636	56	146
平成19年	全国	54,579	28,630	1,390,379	71,718	125,440,111	2,001	8,471
	福島県	952	440	42,276	2,016	2,829,509	52	138
平成20年	全国	52,394	26,808	1,316,890	84,325	108,681,199	1,967	7,979
	福島県	838	412	43,976	1,133	2,700,770	43	120
平成21年	全国	51,124	25,336	1,223,353	106,276	93,009,679	1,877	7,615
	福島県	882	394	35,745	1,979	2,003,738	47	134
平成22年	全国	46,620	23,865	1,187,415	75,549	101,762,173	1,738	7,305
	福島県	730	386	34,610	1,650	1,438,357	43	141
平成23年	全国	50,006	24,491	1,395,112	207,093	112,835,173	1,766	7,286
十八人〇十	福島県	851	355	36,209	2,983	4,968,193	41	122
平成24年	全国	44,102	22,112	1,168,620	37,177	89,269,737	1,720	6,806
十以人名4十	福島県	669	356	37,143	1,012	1,817,794	45	124

危険物統計

平成25年度危険物安全週間推進標語

『 あなたこそ 無事故を担う 司令塔 』

市町別危険物製造所等

(平成25年3月31日現在)

	製造所等			貯		蔵		所		取	扱	所
市町名	Za (合計	小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	一般取扱所
伊	達市	293	178	27	28	4	80	36	3	115	55	60
	Æ 11.	285	174	26	27	4	79	36	2	111	52	59
	旧伊達町	79	53	7	12	3	20	11		26	14	12
	14 / Æ-1	78	52	7	12	3	19	11		26	14	12
	旧梁川町	90	56	8	10	1	25	12		34	13	21
	四米/川門	88	54	7	9	1	25	12		34	13	21
	旧保原町	79	41	5	4		26	5	1	38	19	19
		75	41	5	4		26	5	1	34	16	18
	旧霊山町	28	19	4	2		3	8	2	9	5	4
	山亚口山	27	18	4	2		3	8	1	9	5	4
	旧月舘町	17	9	3			6			8	4	4
	1日入1 日日 日1	17	9	3			6			8	4	4
桑	折 町	62	40	6	5		23	6		22	8	14
*	1) μ1	62	40	6	5		23	6		22	8	14
国	見町	44	26	3	2	1	13	7		18	9	9
4	元 叫	43	25	3	2	1	13	6		18	9	9
JII	俣 町	84	55	12	7	1	18	14	3	29	10	19
711	大 呵	82	53	12	7	1	18	14	1	29	10	19
垣 白	, 市 飯 野 町	17	4	2			2			13	6	7
田丘	7 11 以 打 円	17	4	2			2			13	6	7
合	計	500	303	50	42	6	136	63	6	197	88	109
П	司	489	296	49	41	6	135	62	3	193	85	108

(注) 下段は、完成検査済証交付施設数

倍数別危険物製造所等(完成検査済証交付施設)

(平成25年3月31日現在)

製造所等			貯		蔵		所		取	扱	所
市町名	合計	小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	一般取扱所
5倍以下	244	197	29	13	5	89	58	3	47	2	45
5倍をこえ 10倍以下	95	52	15	10	1	25	1		43	2	41
10倍をこえ 50倍以下	83	38	4	17		16	1		45	23	22
50倍をこえ 100倍以下	26	7	1	1		3	2		19	19	
100倍をこえ	41	2				2			39	39	
合計	489	296	49	41	6	135	62	3	193	85	108

容量別屋外タンク貯蔵所(完成検査済証交付施設)

容量(リットル)	タンク数	割合(%)
10,000未満	11	26.8
10,000以上 20,000未満	15	36.6
20,000以上 30,000未満	5	12.2
30,000以上 40,000未満	4	9.8
40,000以上 50,000未満	3	7.3
50,000以上	3	7.3
合計	41	100

予 防 統 計



平成24年度 伊達地方消防組合消防本部 防火ポスターコンクール最優秀作品 (伊達市立梁川小学校3年 大橋颯人くんの作品です。)

市町別•工事種別同意処理状況

(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

市町別		種別	新築	増築	改築	用途変更	移転	大規模模様替	大規模修 繕	その他	計
伊	達	市	30	42		4					76
桑	折	町	9	23						1	33
玉	見	町	6	32							38
JII	俣	町	11	8		1					20
福島	市飯里	野 町		4		1					5
	計		56	109		6				1	172

市町別•月別同意処理状況

(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

市町別		月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
伊	達	市	4	8	6	9	4	17	2	6	5	8	2	5	76
桑	折	町	1	6	4	2	2	2	5	3	2	1	3	2	33
玉	見	町	4	3	4	7	5	3	2	2	3		4	1	38
Л	俣	町	1		1	4	3	2	4		2		2	1	20
福島	市飯り	野 町						1		1		2		1	5
	計		10	17	15	22	14	25	13	12	12	11	11	10	172

市町別•用途別建築同意処理状況

(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

	_	一 市町別	伊	桑	国	11 11 - 1	4成25年3 飯福)101 H)
			達	折	見	俣	野島	計
防シ	大文	大 象物	市	町	町	町	町市	
(1)	イ	劇場、映画館等						
(1)	口	公会堂、集会場	2	2		1		5
	イ	キャバレー、ナイトクラブ						
(2)	口	遊技場、ダンスホール						
(2)	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	11	カラオケボックス等						
(3)	イ	待合、料理店の類						
(3)	口	飲食店	2					2
(4	(百貨店、マーケット、店舗の類	3					3
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所	1					1
(6)	口	寄宿舎、下宿、共同住宅	1					1
	イ	病院、診療所、助産所		1				1
(6)	口	老人短期入所施設、養護老人ホーム等	1	1	3			5
(0)	ハ	老人デイサービスセンター等	4			1		
	11	幼稚園、盲ろう学校の類			1			1
(7	")	小学校、中学校、高等学校、大学の類	4			4	2	10
(8	3)	図書館、博物館の類						
(9)	1	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類						
(3)	口	イ、以外の公衆浴場						
(1)	0)	車両の停車場の類						
(1)	1)	神社、寺院、教会の類	1					1
(12)	7	工場、作業場	1	1	1	5	3	11
(14)	口	テレビスタジオ等						
(13)	イ	自動車車庫、駐車場						
(15)	口	飛行機、回転翼航空機の格納庫						
(1	4)	倉庫		1				1
(1:	5)	前各項に該当しない事業場	4		1			5
(16)	イ	(1)~(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する 複	2		1			3
(10)	口	上記以外の複	1					1
	住	宅	14	5	4	7		30
	そ の 他			34	42	26		169
	台	計	108	45	53	44	5	255

⁽注)1. 複は、複合用途防火対象物を示す。

^{2. (1)~(16)}までの調査対象は、延べ面積150平方メートル以上。

防火対象物施設数

						(半成2	25年3月3	31日現在)
防少	・ 対象	市町別	伊達市	桑折町	国見町	川 俣 町	飯福野島町市	計
	I	劇場、映画館等	1			1		2
(1)	口	公会堂、集会場	49	6	6	19	4	84
	イ	キャバレー、ナイトクラブ						
(0)	口	遊技場、ダンスホール	5				1	6
(2)	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	11	カラオケボックス等	2					2
(3)	イ	待合、料理店の類	3	3		3	1	10
(3)	П	飲食店	14		3	1		18
(.	4)	百貨店、マーケット、店舗の類	68	12	11	21	5	117
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所	12			5	2	19
(3)	口	寄宿舎、下宿、共同住宅	203	28	15	33		279
	イ	病院、診療所、助産所	37	3	2	8	3	53
(6)	П	老人短期入所施設、養護老人ホーム等	13	5		5	1	24
(6)	ハ	老人デイサービスセンター等	26	5	2	5	3	41
	11	幼稚園、盲ろう学校の類	17	6	3	5	3	34
(7)	小学校、中学校、高等学校、大学の類	74	12	4	27	10	127
(8)	図書館、博物館の類	3	1		2		6
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類						
(9)	口	イ、以外の公衆浴場						
(1	(0)	車両の停車場の類	1					1
(1	1)	神社、寺院、教会の類	37	10	5	5	2	59
(12)	イ	工場、作業場	251	50	33	87	49	470
(14)	口	テレビスタジオ等						
(13)	イ	自動車車庫、駐車場	10	1	1		1	13
(13)	口	飛行機、回転翼航空機の格納庫						
(1	4)	倉庫	171	34	19	25	16	265
(1	15) 前各項に該当しない事業場		163	40	51	43	14	311
(16)	(1)~(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する復		62	6	10	18	4	100
(10)	口上記以外の複			1	1	8	5	36
(1	7)	重要文化財	1	1	1			3
	合	計	1,244	224	167	321	124	2,080

- (注)1. 複は、複合用途防火対象物を示す。
 - 2. 調査対象は、(17)項以外は延べ面積150平方メートル以上。

防火対象物の階層別・面積別調

(平成25年3月31日現在) 階層別面積別(㎡)																			
				階一	_		層	<u></u>	別七							ı			
			_	_		匹	五.	六	階		150	150	300	500	700	1,000	6, 000	10,000	
									以	計	未	5	5	5	5	5	5	以	計
			階	階	階	階	階	階	上		満	299	499	699	999	5, 999	9, 999	上	
(4)	イ	劇場、映画館等	ТН	2	I	1 11	П	I		2						2			2
(1)	ロ	公会堂、集会場	52	26	6					84		23	28	12	10	11			84
	イ	キャバレー、ナイトクラブ																	
(0)	ロ	遊技場、ダンスホール	3	3						6		2	2		1	1			6
(2)	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等																	
	1	カラオケボックス等	1	1						2			2						2
(2)	イ	待合、料理店の類	1	9						10		3	4	1	2				10
(3)	ロ	飲食店	11	6		1				18		12	3	2	1				18
(4	.)	百貨店、マーケット、店舗の類	82	33	2					117		37	20	19	7	32	2		117
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所	3	12	3		1			19		3	3	4	5	4			19
(5)	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	3	208	45	9	14			279		133	79	20	12	35			279
	イ	病院、診療所、助産所	15	29	2	4	2	1		53		17	14	6	4	9	1	2	53
(6)	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム等	7	14	3					24		2	5	2	1	13		1	24
(0)	ハ	老人デイサービスセンター等	27	13	1					41		12	9	8	9	3			41
	11	幼稚園、盲ろう学校の類	28	6						34		10	13	6	3	2			34
(7	")	小学校、中学校、高等学校、大学の類	51	37	31	8				127		10	12	13	23	61	5	3	127
(8	3)	図書館、博物館の類	2	4						6			3	1		2			6
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類																	
(9)	口	イ、以外の公衆浴場																	
(10	0)	車両の停車場の類	1							1		1							1
(1	1)	神社、寺院、教会の類	27	32						59		12	23	14	8	2			59
(12)	イ	工場、作業場	251	211	8					470		77	102	64	70	136	8	13	470
(12)	ロ	テレビスタジオ等																	
(13)	イ	自動車車庫、駐車場	11	2						13		9	3	1					13
(10)	口	飛行機、回転翼航空機の格納庫																	
(14	4)	倉庫	195	66	4					265		77	69	36	39	41	3		265
(15	5)	前各項に該当しない事業場	110	158	36	3	3	1		311		70	97	52	28	63	1		311
(16)	イ	(1)~(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する 複	23	49	22	4	1		1	100		18	35	20	9	17	1		100
(10)	口	上記以外の複	5	24	6			1		36		5	14	11	3	3			36
(1'	7)	重要文化財	1	1	1					3	1			2					3
	合 計		910	946	170	29	21	3	1	2080	1	533	540	294	235	437	21	19	2080

- (注)1. 複は、複合用途防火対象物を示す。
 - 2. 調査対象は、(17)項以外は延べ面積150平方メートル以上。

甲種防火対象物防火管理者選任届出状況

										(半	-成2:	5年3	月31日	現在)
	\	区分	į	尹 奎 卡	扌	桑 近	見	国 見 丁	佳	川 吴 丁	野	福島市	間口	+
防シ	大文	大 象物	А	В	А	В	А	В	А	В	А	В	А	В
(1)	イ	劇場、映画館等							1	1			1	1
(1)	口	公会堂、集会場	41	40	6	5	2	1	7	7	1		57	53
	イ	キャバレー、ナイトクラブ												
(2)	口	遊技場、ダンスホール	3	3							1	1	4	4
(2)	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等												
	11	カラオケボックス等	2	2									2	2
(3)	イ	待合、料理店の類	1	1	2	2			1	1	1	1	5	5
(3)	口	飲食店	4	3	1	1							5	4
(4)	百貨店、マーケット、店舗の類	42	37	6	6	7	7	17	17	1	1	73	68
(5)	1	旅館、ホテル、宿泊所	9	9					3	3	1	1	13	13
(5)	口	寄宿舎、下宿、共同住宅	12	11	1	1	1	1	6	4			20	17
	1	病院、診療所、助産所	11	10			1	1	1	1	2	2	15	14
(C)	口	老人短期入所施設、養護老人ホーム等	8	8	5	5			5	5	1	1	19	19
(6)	ハ	老人デイサービスセンター等	16	16	3	3	1	1	3	3	2	2	25	25
	11	幼稚園、盲ろう学校の類	11	11	3	3	2	2	3	3	2	2	21	21
(7	")	小学校、中学校、高等学校、大学の類	28	27	6	6	2	2	7	7	4	4	47	46
(8	3)	図書館、博物館の類	2	2					1	1			3	3
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類												
(9)		イ、以外の公衆浴場												
(10	0)	車両の停車場の類												
(1)	1)	神社、寺院、教会の類	13	11	2	2	1	1			1		17	14
(12)	イ	工場、作業場	29	28	8	8	5	5	9	8	2	2	53	51
(14)	口	テレビスタジオ等												
(13)	$\overline{}$	自動車車庫、駐車場												
(13)	口	飛行機、回転翼航空機の格納庫												
(1	4)	倉庫	2	2	1	1							3	3
(1	5)	前各項に該当しない事業場	41	40	6	5	4	4	4	4	3	3	58	56
(16)	イ	(1)~(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する復	44	33	2	2	9	9	9	7	3	3	67	54
(10)	口	上記以外の復	5	5	1	1							6	6
(1	7)	重要文化財												
	合	計	324	299	53	51	35	34	77	72	25	23	514	479

⁽注)1. 復は、複合用途防火対象物を示す。

^{2.} Aは選任を必要とする対象物数、Bは選任している対象物数。

乙種防火対象物防火管理者選任届出状況

		<u></u>								(+			月31日	現在)
	\	区分	信道言	芦	扌	秦 斤	見	包	倡	川 吴 丁	野	福島市	111III	+
防力	大文	大象物	А	В	А	В	А	В	А	В	А	В	А	В
(1)	イ	劇場、映画館等												
(1)	口	公会堂、集会場	4	4			3	1	11	10	3	3	21	18
	イ	キャバレー、ナイトクラブ												
(0)	口	遊技場、ダンスホール	1	1									1	1
(2)	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等												
	IJ	カラオケボックス等												
(0)	1	待合、料理店の類	1	1					1	1			2	2
(3)	口	飲食店	12	9			1	1	1	1			14	11
(4	1)	百貨店、マーケット、店舗の類	4	3	1	1			1	1	1		7	5
(-)	1	旅館、ホテル、宿泊所												
(5)	口	寄宿舎、下宿、共同住宅							2	1			2	1
	イ	病院、診療所、助産所												
(c)	口	老人短期入所施設、養護老人ホーム等												
(6)	ハ	老人デイサービスセンター等	1	1			1	1	1	1			3	3
	11	幼稚園、盲ろう学校の類			1	1							1	1
(7	7)	小学校、中学校、高等学校、大学の類												
(8	3)	図書館、博物館の類							1	1			1	1
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類												
(9)	ロ	イ、以外の公衆浴場												
(1	0)	車両の停車場の類												
(1	1)	神社、寺院、教会の類			3	3	1	1	1				5	4
(12)	1	工場、作業場												
(14)	ロ	テレビスタジオ等												
(13)	1	自動車車庫、駐車場												
(10)	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫												
(1	4)	倉庫												
(1	5)	前各項に該当しない事業場	2	2	1	1			4	4			7	7
(16)	7	(1)~(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する(複)	2						1	1			3	1
(10)	口	上記以外の優												
(1	7)	重要文化財												
	合	計	27	21	6	6	6	4	24	21	4	3	67	55

⁽注)1. 復は、複合用途防火対象物を示す。

^{2.} Aは選任を必要とする対象物数、Bは選任している対象物数。

防火対象物立入検査実施状況

(平成25年3月31日現在)

_											(半月	又25年	丰 3月31	日 現 <i>仕)</i>
/	`	区分	信 道 百	尹 室 方	扌	秦 斤	Ę	包		II 吴 丁	野	福島市	111111111111111111111111111111111111111	+
防力	大文	大象物	А	В	А	В	А	В	А	В	А	В	А	В
(1)	イ	劇場、映画館等	1						1	1			2	1
(1)	口	公会堂、集会場	49	28	6		6	1	19	12	4	4	84	45
	イ	キャバレー、ナイトクラブ												
(2)	口	遊技場、ダンスホール	5	2							1	1	6	3
(2)	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等												
	11	カラオケボックス等	2	1									2	1
(3)	イ	待合、料理店の類	3	2	3				3	1	1	1	10	4
(3)	口	飲食店	14	2			3	2	1	1			18	5
(4	1)	百貨店、マーケット、店舗の類	68	42	12	6	11	4	21	14	5	4	117	70
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所	12	10					5	5	2	3	19	18
(5)	口	寄宿舎、下宿、共同住宅	203	61	28	1	15		33				279	62
	イ	病院、診療所、助産所	37	23	3		2		8	5	3	3	53	31
(6)	口	老人短期入所施設、養護老人ホー、	13	21	5	5			5	3	1	1	24	30
(6)	ハ	老人デイサービスセンター等	26	23	5	1	2	1	5	2	3	2	41	29
	11	幼稚園、盲ろう学校の類	17	10	6		3		5	5	3	1	34	16
(7	7)	小学校、中学校、高等学校、大学の類	74	37	12		4	4	27	21	10	8	127	70
(8	3)	図書館、博物館の類	3	2	1				2	1			6	3
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類												
(9)	口	イ、以外の公衆浴場												
(1	0)	車両の停車場の類	1	1									1	1
(1	1)	神社、寺院、教会の類	37	24	10	3	5		5	1	2		59	28
(12)	イ	工場、作業場	251	126	50	22	33	9	87	41	49	33	470	231
(12)		テレビスタジオ等												
(13)	1	自動車車庫、駐車場	10	9	1		1				1		13	9
(13)		飛行機、回転翼航空機の格納庫												
(1	4)	倉庫	171	59	34	9	19	2	25	15	16	11	265	96
(1	5)	前各項に該当しない事業場	163	65	40	6	51	5	43	17	14	10	311	103
(16)	イ	(1)~(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する 榎	62	28	6	1	10	2	18	9	4	1	100	41
(10)	口	上記以外の優	21	6	1		1		8	8	5	2	36	16
(1	7)	重要文化財	1		1		1	1					3	1
		合計	1,244	582	224	54	167	31	321	162	124	85	2,080	914

⁽注) 1. Aは防火対象物数、Bは立入検査実施数。

2. 調査対象は、(17)項以外は延べ面積150平方メートル以上。 — 52 —

消防用設備等の届出・検査済証件数

(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

設備名		消	屋	ス	ハ	粉	屋	動	自	漏	消防	非	非常	避	誘	消	連	連
以加力			内	プリ	ロゲ、	末	外	力消	動火	電	機関へ	常	常警報	****	導灯	77-	結	結
	計	火	消火	ンク	ン化	消	消火	防 ポ	災	火災	通報す	警	設備	難	•	防	散	送
			栓	ラー	物消	火	栓	ンプ	報知	数言	る火災	報	(放送	器	誘導	用	水	水
区分			設	設	火設	設	設	設	設	報	報知設	設	設備		標		設	水
		器	備	備	備	備	備	備	備	器	備	備)	具	識	水	備	管
着工届出	83		8	6					42		9	3	6	2	7			
設置届出	240	73	11	7					54		8	20	8	3	56			
検査済証	238	72	11	7					54		8	20	8	3	55			

火災予防条例等に基づく届出状況

(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

					(半成24	年4月1日~	~平成25年	3月31日)
事項	j	所属	中央	東	西	南	北	計
◎施行規則	消防計	. 画	38	29	41	53	39	200
	圧縮アセチ	・レン			2			2
	無水硫							
	液化石油			1	4	1	1	7
◎危 政 令	生 石	灰						
	毒	物						
	劇	物						
○火災予防条例								
使用	開	始	4	3	7	33	6	53
· ·	F				1			1
厨房	設	備						
温風	爰 房	機						
ボ イ	ラ		1	1	4	1		7
給 湯	設	備	1			5	1	7
乾燥	設	備	2	1				3
サ !	<mark></mark>	ナ						
ヒートポン	プ冷暖房	機						
火 花 を 生	ずる設	備						
放電力	加工	機						
変電	設	備	2	2	1	3	3	11
発電	設	備	6		8	2	1	17
	也 設	備	2		2	3	1	8
	発 電 設	備						
ネオ	ン	管						
水素	気	球						
	っしい	煙	127	40	76	39	182	464
	打 上	げ	27	29	40	94	24	214
催		物		1		36		37
	咸	水			1	6		7
道路	エ	事	249		136	20	81	486
	同 道	等						
	色 険	物	8	2	8	37	9	64
.,.	可燃	物						
タ ン ク オ		查						
Ē	} +		467	109	331	333	348	1,588

警 防



伊達地方消防組合消防本部・消防署(分署)及び消防機械配置図

(平成25年4月1日現在)



消防本部(中央消防署)から分署・各市町間の距離



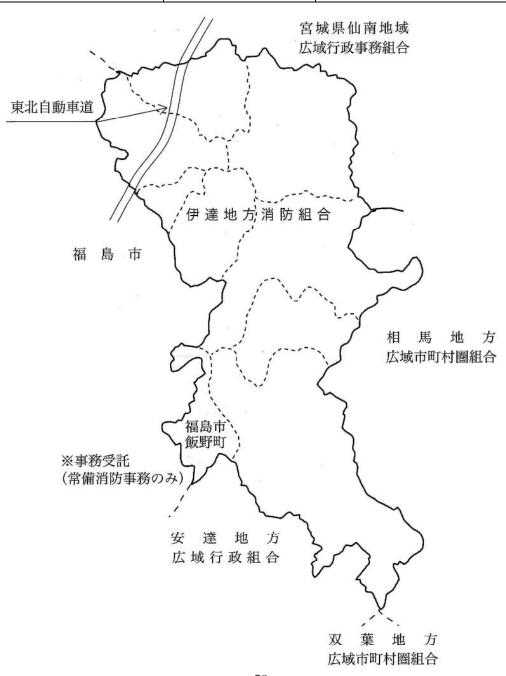
	分署	距離
(-)	東分署	7.72km
中央消防:	西分署	6.79km
本部	南分署	24.80km
	北分署	7.51km

J	孔 例
	消防本部
	消防署
\bigcirc	分署
	町境
	管轄区域線

相互応援協定

(火災・救急その他災害相互応援協定)

市町村等名	締結年月日	相互応援協定の内容
福 島 市	昭和 48 年 9 月 30 日	火災・救急・その他の災害
相馬地方広域市町村圏組合	昭和 48 年 9 月 1 日	II
安達地方広域行政組合	昭和 49 年 2 月 1 日	II
宮城県仙南地域広域行政事務組合	昭和 50 年 4 月 1 日	" (東北自動車道を含む。)
双葉地方広域市町村圏組合	昭和 58 年 9 月 1 日	II
東北自動車道1市5組合	平成2年4月1日	東北自動車道上の火災・救急その他の災害
福島県広域消防相互応援協定	平成 9 年 12 月 26 日	福島県内 12 消防本部 大規模特殊災害
火災原因調査に係る相互応援協定	平成 11 年 12 月 27 日	福島県内 12 消防本部 火災原因調査



現 勢 消 防 力 調

(平成25年4月1日現在)

													\ /J&Z\	7十4月1	<u> </u>
团	面積	473.63	消	消防水槽的	ポン 付消防:		自 動 プ白重		7	消	機	团	本	部	4
					ご付消			<u>。——</u> 車	1						
)	\ D	102,650			肖防ポ				1			分	可	数	39
				小 型	. 動:	力 1	t ン	プ	8	1					
t	世帯数	35,408	防	救	助	I	作	車	1]	構	寸	員	数	2436
				高 規	格救	急!	自動	車	5			. ,			
沵	消防本部	1		救		急		車	2	防	+414	治院	ポンプ自	動車	35
消	HW무마	1		同		Ŷ		車	1	ראו	機	/H HJ	かノノ ト	到半	33
l	>>/ F. FE		ماما	查	1	察		車	1			水;	槽付う	 肖 防	
防	消防署	1	機		基絡車(,		,	6			-		動車	1
				小型重	カカポン	ンプイ	寸水桿	車	1					•	
機	分署	4		人員	資 器	材:	搬送		1			小 型	型動力ポ	ピンプ	101
					務 i	重	絡	車	1						
構	人員	163	械	指担		照	明	車	1	寸	械		動力が		126
	, ,,,			資格	後 材	搬	送	車	1			積	載	車	0

事務受託区域(福島市飯野町)を除く。

消 防 水 利 現 状 調

(平成25年4月1日現在)

					十八人20十4万	J. 11 20 12 /
区分 町別	防 火 20㎡	水 40㎡	そ う 60㎡	消火栓	その他	合計
הוו וייו	20111	40111	00111			
伊達市	251	308	26	711	97	1,393
桑折町	42	99		195		336
国見町	61	52	8	134	5	260
川俣町	127	15	1	148		291
合 計	481	474	35	1,188	102	2,280

消防車両等の現勢調

(平成25年4月1日現在

所属区分	種別	車両番号	車名	年式	総排 気量 (cc)	ポーン プー種 ポンプ型式	別級別	購入年月日	経過年数
消	司令車	す 4881	スバル レガシィB4	21	1,990			21. 2.20	4.2
防	查察車	に 613	トヨタ カルディナバン	9	1,490			9. 6.23	16.10
	人員資器材搬送車	さ 6988	トヨタ ハイエースコミューター	14	2,980			14. 2. 6	11.2
本	事務連絡車	ち 3469	ホンダ トゥデイ	8	650			8.12.25	16.4
部	防火広報車	す 3759	トヨタ ハイエースバン	19	2,490			19. 8.30	5.8
中	救急自動車	す 5429	トヨタ ハイメディック	21	2,690			21.12.16	3.4
	広報連絡車	に 218	トヨタ カルディナバン	8	1,490			8. 9.20	16.7
	救急自動車	す 9314	トヨタ ハイメディック	9	3,370			9.12.18	15.4
央	消防ポンプ自動車	す 3894	いすゞ エルフ	6	3,630	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	6. 3.10	19.1
大	消防ポンプ自動車	す 6952	いすゞ エルフ	24	2,990	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	24.2.14	1.2
	水槽付消防ポンプ自動車	は 829	日野 レンジャー	24	6,400	モリタ 無給油式ピストン真空ポンプ	A-2	24.2.14	1.2
	救助工作車	は 121	いすゞ フォワード	13	8,220			13. 1.10	12.3
消	はしご付消防自動車	は 764	日野 プロフィア	23	8,860			23. 3. 8	2.1
	指揮兼照明車	す 1975	トヨタ ハイエースバン	17	2,490			17.10.31	7.6
	資機材搬送車	す 5430	トヨタ ダイナ	21	4,000			21.12.16	3.4
防	小型動力ポンプ		シバウラ TF516SH	17	182	シバウラ 1段タービン	C-1	17. 5.19	7.11
P	小型動力ポンプ		シバウラ TF15SE	61	182	シバウラ 1段タービン	C-1	61. 7. 9	26.9
	小型動力ポンプ		シバウラ TF15SE	61	182	シバウラ 1段タービン	C-1	61. 2.24	27.2
	小型動力ポンプ		トーハツ VF21A	24	209	トーハツ 片吸込1段タービンポンプ	C-1	24.2.14	1.2
署	林野火災高圧ポンプ		クライスラー PL80614	53	134	クライスラー		53. 3.23	35.1

所属	種別	車両番号	車名	年式	総排 気量	ポーンプ種	別	購入	経過	摘
区分	1	十四田丁	т п	式	(cc)	ポンプ型式	級別	年月日	年数	要
東	広報連絡車	に 217	トヨタ カルディナバン	8	1,490			8. 9.20	16.7	
	救急自動車	す 7865	トヨタ ハイメディック	25	2,690			25.1.21	0.3	
分	消防ポンプ自動車	す 4875	いすゞ エルフ	21	2,990	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	21. 2.17	4.2	
	水槽付消防ポンプ自動車	せ 1318	いすゞ フォワード	10	8,220	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	10.10.28	14.6	
署	小型動力ポンプ		トーハツ V20E	21	198	片吸込 1段タービンポンプ	C-1	21.2.17	4.2	
西	広報連絡車	さ 6618	ニッサン ADバン	13	1,490			13.11.12	11.5	
	救急自動車	す 7063	トヨタ ハイメディック	24	2,690			24.3.28	1.1	
	救急自動車	さ 8676	トヨタ アンビュランス	15	3,370			15. 3.26	10.1	
分	消防ポンプ自動車	す 3895	いすゞ エルフ	6	3,630	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	6. 3.10	19.1	
/	消防ポンプ自動車	す 7235	いすゞ エルフ	8	4,570	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	8.10.14	16.6	
	化学消防ポンプ自動車	は 38	いすゞ フォワード	11	8,220	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	11.11.29	13.5	
	小型動力ポンプ		シバウラ TF15SE	61	166	シバウラ 1段タービン	C-1	61. 2.24	26.2	
署	小型動力ポンプ		トーハツ V20E	21	198	片吸込 1段タービンポンプ	C-1	21. 8.17	3.8	
南	広報連絡車	に 1273	^{トヨタ} カルディナバン	11	1,490			11. 3.30	14.1	
	救急自動車	す 3989	トヨタ ハイメディック	19	2,690			19.12.17	5.4	
分	消防ポンプ自動車	す 7234	いすゞ エルフ	8	4,570	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	8.10.14	16.6	
),	水槽付消防ポンプ自動車	は 954	日野 レンジャー	25	6,400	モリタ 無給油式ピストン真空ポンプ	A-2	25.2.12	0.2	
	小型動力ポンプ付水槽車	は 860	三菱ふそう	8	11.94	トーハツ 1段タービン	B-2	24.3.29	17.2	
署	小型動力ポンプ		シバウラ TF516SH	20	182	シバウラ 1段タービン	C-1	20.10.24	4.6	\bigsqcup
北	広報連絡車	す 1976	ニッサン ADバン	17	1,490			17.10.31	7.6	
	救急自動車	さ 6628	トヨタ アンビュランス	13	3,370			13.11.14	11.5	
分	消防ポンプ自動車	す 5528	いすゞ エルフ	22	2,990	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	22. 2. 4	3.2	
	水槽付消防ポンプ自動車	は 678	いすゞ フォワード	21	5,190	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	21. 2.25	4.2	
署	小型動力ポンプ		トーハツ V20E	22	198	片吸込 1段タービンポンプ	C-1	22. 2. 4	3.2	

無線局配置状況調

(平成25年4月1日現在)

局別									
问例				局	·	携	帯	局	
署所別	基地局	種別	台		出	台	呼	出	
	/	司 令 車	1	だてしょうしれい	1				
		査 察 車	1	11	2		101 102	106	
消防本部		人員資器材搬送車	1	IJ	3	9	103	107 108	
		指 揮 広 報 車	1	IJ	4		104 105	109	
	/	防 火 広 報 車	1	II	5		100		
		救 急 自 動 車	2	だてきゅうきゅう	1				
		広 報 連 絡 車	1	だてしょうちゅうおう	11		111	121	
	学 1	救 急 自 動 車	1	11	12		111 112	121	
	第1	消防ポンプ自動車	1	IJ.	13		113 114	123 124	
中央消防署	第2	消防ポンプ自動車	1	IJ.	14	19	114	124	
中关值的看	第3	水槽付消防ポンプ自動車	1	IJ.	15	19	116 117	126 127	
	第4	救 助 工 作 車	1	IJ	16		118	201	
	万年	はしご付消防自動車	1	IJ	17		119 120	202	
		指 揮 兼 照 明 車	1	IJ	18		120		
		資 機 材 搬 送 車	1	IJ	19				
		広 報 連 絡 車	1	だてしょうひがし	31		131 132	137	
東分署	第1	救 急 自 動 車	1	IJ	32	7	133		
· 水 刀 有	20 1	消防ポンプ自動車	1	IJ	33	'	134 135		
		水槽付消防ポンプ自動車	1	IJ	34		136		
		広 報 連 絡 車	1	だてしょうにし	41		141		
		救 急 自 動 車	1	II.	42		142 143		
西 分 署	第1	救 急 自 動 車	1	IJ	43	8	144		
	N41	消防ポンプ自動車	1	IJ	44	0	145 146		
		消防ポンプ自動車	1	IJ	45		147		
		化学消防ポンプ自動車	1	II.	46		148		
		広 報 連 絡 車	1	だてしょうみなみ	51		150		
		救 急 自 動 車	1	11	52		152 153		
南 分 署	第1	消防ポンプ自動車	1	11	53	5	154		
		水槽付消防ポンプ自動車	1	11	54		155 156		
		小型動力ポンプ付水槽車	1	だてすいそう	1				
		広 報 連 絡 車	1	だてしょうきた	61		161 162		
北分署	第1	救 急 自 動 車	1	11	62	6	163		
77 19	2/1/1	消防ポンプ自動車	1	II	63		164 165		
		水槽付消防ポンプ自動車	1	11	64		166		
合 計	8		35			54			

消防機器材の現有状況

(平成25年4月1日現在)

													(平成25年4月1日現在)
	_				区分								
~ n						合計	本部	中央	東	西	南	北	性能・型式
種別	IJ				_								
	中	継 用	有	i 水	槽	5		1	1	1	1	1	マリーンA500
	放	水		銃	座	5		1	1	1	1	1	TSWG1. 3型
	背	負いす	弌 散	放 水	器	103		33	18	21	21	10	181型
l f	簡	 易	発	泡	器	5		1	1	1	1	1	
l f	口口		IJ —	管そ	う	13		4	2	3	2	2	
l h	 消	火 栓 立				17		5	3	4	3	2	
-	111				<u>六</u> 具	12		3	2	3	2	2	
l F		又 分											
警	Ξ.	連		梯	子	13		5	2	2	2	2	
		連_		梯	子	8		3	1	2	1	1	
	平		梯		子	6		2	1	1	1	1	カギ付
	大	か ぎ		単 梯	子	2		2					KHFL-31
	エ	ンジ:	ンカ	ッタ	Ţ	5		1	1	1	1	1	パートナー、K-12D
	ボ	ルト	力	ッタ	_	15	2	4	2	3	2	2	10m/m, 5m/m
	携	帯	投	光	器	8		4	1	1	1	1	
	空	気	呼	吸	器	80		42	6	15	11	6	ライフゼム
1	酸	 素	呼		器	5		5	Ŭ				"
	空	気	ボ	ン	~	214		166	12	12	12	12	
l	<u>工</u> 耐	Х(<u></u>		服	13		7	2	0	2		4型
l		= 1, 13 =) H L								2	
l.F		ランジス				25	3		2	2	2		
防_	ホ	<u>ー ス</u>	ブ	-	ジ	25		9	4	4	4		50・60mm兼用型S-330-W
l ⊨	東		フォ		ン	10		2	2	2	2		T-200
	オ	イル	フ	ェン	ス	15		3	3	3	3		10m
	携	帯	発	電	機	28	1	15	3	4	3	2	ホンダ等
	耐	電 ・ 絶	縁月	月 具 一	式	9	1	8					
	林	野火災	用高	圧ポン	プ	1		1					ウォータールート350NS一式
	訓	練	用	人	形	2		2					ダミー
	泡)		ズ	ル	6		1	1	2	1	1	ピックアップ式RP-200
	エ	アーラ	テン	トー	式	2		2					アキレスA-45
	心	肺蘇生		訓 練	器	9		9					レールダル社
	心	마노 코날		□	1.1-	8		2	1	2	2	1	
l ⊦	電	<u>肿 無</u> 池 式			<u>极</u> 器	8		2	1	2	2		
		素	<u>ザ</u> ボ	- <u>吸</u> ン	がべ						_		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
-1×4-	酸			•		145		125	4	8	4	4	
救	保立	安	点	滅	灯	10		_	1	2	1		電池式
-	夜,	光安全		ヨ ツ	キ	50	4		4	18	8	4	
1 L	Ш.		圧		計	14		4	2	3	3		アネロイド型血圧計大人用ポケット型
	シ	ヨ ツ	ク	パン	ツ	8		2	1	2	2	1	米国デービットクラーク社製
	喉		頭		鏡	14		4	2	3	3	2	マッキントッシュ型
	異	物除	去	用鉗	子	9		3	1	2	2	1	マギール鉗子
急	気	道管理	里 ト	レー	ナ	5		1	1	1	1	1	レールダル社製
		動式心			器	2				1	1		サンパー心肺蘇生装置
		急車室内				1		1					
		中酸素飽				12		2	2	3	3	2.	ネルコア N-20 P
 	AEI		<u>3 71円 1/28</u> レ		ナ	14		14		J			7 11 80 1
ш	ILL	, 1			/	14	<u> </u>	1.1					

_	7	区分							
			本部	中央	東	西	南	北	性能・型式
種別	ıl —								
	, ,	1)	3	2	2	2	1	
	ガス滅菌		1	1					
救	人 工 蘇 生 器	是 1	2	3	2		2	2	
	リングカッター	_	3	1	1	2	1	1	
	心電		5	1	1	1	1	1	
	除細動	是 1	2	2	2	3	3	2	
	輸液セッ		5	1	1	1	1	1	
	気道確保チューフ		5	1	1		1	1	
	ターポリン担勢		1	2	2	4	4	2	
L	高度救急処置シミュレーター		1	1					
急	輸 液 訓 練 用 モ デ /		5	1					
, L.	殺菌ロッカー		5	1	1	1	1	1	
	救急技術教育ビデス		1	1					一式
lacksquare	特定行為専用バックセット		2	1		1			
 	防爆型携帯電火		3	6					JL 05104
-			1	1					ソフトランディング、SL-40
l	レンジャー担勢		3	4			1		平、舟型、TIスプリット、スケッド
l F	簡易担ク		1	3	3	3	4	3	2 5
l F	救命索発射)	0					ミクロM-3
-	救命索発射装置		2	2					レスキューショット
l H			7	7					マイティーバック一式
I -			2	2					nn- *
救	安 全 ネ ッ 張 力 言		1	3					DR式
l	<u>策</u> 柱 上 安 全 特		3	6					YR-100
l ⊢			1	1					73D、R455、R425、5B ルーカス
l H	<u>大</u> 室 而 压 秋 助 品 身		2	2					オグラ
l ⊦	チェーンブロック		1	1					3t
	<u> </u>		3	7			1		T-7, TU-16, T-35
			7	3	1	1	1	1	マッカラー、スチール
l H			3	3		1	1	1	タイガー
I			3	3					Aセット、Bセット
	ガス遮断様		1	1					ニューチョパック
			2			2			
			1	1					ピコ14
	ファイバースコープ		2	2					カールシーカーMY-400
	<u> </u>		2	2					アキレスSU-14、アキレスSE365
— 助—	救助ボート用船外材		2	2					ホンダBF9.9AMLJ、ヤマハ20CM
別一	救 命 胴 3		-	25		9	9	9	KSK1~3、ライフジャケット
	救 命 浮 玛		_	4	_		4	3	
	かぎ付けし		1	1					KHFL-CT
	ロイセーけし、		1	1					ケービングラダー-11m
	マンホール救助器具		1	1					ロールグリスMR-110
	携帯用コンクリート破壊器具	Į	1	1					ストライカーTR-800
	防毒マスク	7	5	5					GM-164有機缶付き
		是 1)	10					レスキューコール
	放射線防護 服	ट्रे	3	3					NUK-500

	区分								
種類		合計	本部	中央	東	西	南	北	性能・型式
112	放射線測定器(空間線量計)	33	15	6	3	3	3	3	NHE 2 0 C Y 3 - 1 3 1 B Y - S
救	放射線測定器(表面汚染検査計)	3		1	1	1	1		RDS-80
ľ	個 人 線 量 計	204		46	22	25			DOSE i — γ
Ì	吊り上げ救助器具	1		1					4ポイントブラインドール一式
Ì	送 排 風 機	1		1					RFE-282Y
ľ	<u></u> 防 塵 マ ス ク	5		5					DR-165-6
Ì	帯電服	5		5					YS-121
ľ	帯電ズボン	5		5					YS122
l	防毒衣	3		3				_	RS-11000
l	緩降機	1		1				_	スローダウン20m
助	ロープ登降機	3		3					ASCENSION BO7R
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	1		1					CT101 CB
	煙、体、験、用、資、器、材	2	1						体験ハウス、発煙機、発電機
予	映 写 機	3		1					ホクシン16m/m・液晶VIP400
	投 影 機	3							プラス。OHP CX-500
l	ビ デ オ 装 置	6	1	1	1	1	1	1	NV-H230G
l	カ メ ラ	12	2	2	2	2	2	2	
l	インスタントカメラ	7	1	2	1	1	1	1	F-50 S
Ì	テープレコーダー	11	1	2	2	2	2	2	
l	自 記 温 湿 度 計	1		1					シグマⅡ型
	ス ク リ ー ン	3	1	2					プラスKSV-80
l	映画フィルム	27	27						
l	騒 音 計	1	1						0S-11
l	電子テスター	1	1						日置
	漏電遮断機テスター	2	2						II
l	自動接地抵抗計	1	1						ナショナル
	ガス検知器	7	1	1	1	2	1	1	XP305・他に北側式(5)
ĺ	放水圧力測定器	3	3						40用E-1、65用E-2
	引火点試験器	2	2						タグ密閉式、クリーンブラインド開放式
	膜 厚 計	3	3						SL-F20型・SM-1500 D
	加 熱 試 験 器	1	1						HK3
防	メジャーポール	5		1		1	1		8段6m
	訓練用水消火器	51		15	9	9	9	9	
[<u> </u>	エアーコンプレッサー	5		1		1	_		
そ	ガレージジャッキ	6		2	1	1	1	1	10t、5t、3t
	サービスキット	5		1	1	1	1	1	
	リ ジ ッ ト ラ ッ ク	10		2	2	2	2	2	5t用
	洗車機	5		1	1	1	1	1	
	エアーインパクトレンチ	1		1					空研KW-14HP
(T)	電気ドリル	1		1					
× /	電気ディスクグラインダー	1		1					
	電気丸のこ	1		1					
	コンビネーションガス測定器	11		7	1	1	1	1	
	空気充填用コンプレッサー	1		1					AVC14型
	充 電 器	6		1	1	1	1	2	
他	エアーガスセット	1		1					いわたW71-3S
	エレクトロツールセット	7	1	2	1	1	1	1	宝山S-10

救 助 統 計



事故種別出場件数活動件数調

(平成24年中)

		事故	種別	火	災	交通	水難	風水害等自然	機械による事		ガス及び酸欠	爆発	その他	計
件数	区分			建物	建物以外	事故	事故	災害	お数	事故	事故	事故	の事故	ĒΙ
出	場	件	数	2		44	6	3	6	2			6	69
活	動	件	数	2		13	2		3	1			5	26

⁽注) 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

事故種別車両別救出者搬送人員調

(平成24年中)

				\ 1	PX 21	1 1 /						
件数区分	事故種別	火 建物	災 建物 以外	交通 事故	水難事故	風水害 等自然 災害	機械に よる事 故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆発 事故	その他 の事故	
救 急 自	動車			14			3	1				18
消防機関のその等	他の車両											
消防機関以外(ドクター~	の車両等 ヘリ等)			1							2	3
計				15			3	1			2	21

⁽注)1 本表は、事故種別ごとに、救出者の搬送方法を記載する。

² 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

事故種別出場件数活動件数調

(平成24年中)

							794 - 1	1 1/						
		事故	種別	火	災	父进	水難	風水害 等自然	機械による事	建物等による	ガス及び酸欠	爆発	その他	計
件数	女区分			建物	建物以外	事故	事故	災害	故	事故	事故	事故	の事故	рI
出	場	件	数	2		44	6	3	6	2			6	69
活	動	件	数	2		13	2		3	1			5	26

⁽注) 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

事故種別車両別救出者搬送人員調

(平成24年中)

				\	PA 41							
件数区分	事故種別	火 建物	災 建物 以外	交通 事故	水難事故	風水害 等自然 災害	機械に よる事 故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆発 事故	その他の事故	1
救 急 自	動車			14			3	1				18
消防機関のその等	他の車両											
消防機関以外(ドクター~	の車両等 〜リ等)			1							2	3
計				15			3	1			2	21

⁽注)1 本表は、事故種別ごとに、救出者の搬送方法を記載する。

² 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

事故種別出場人員活動人員調

(平成24年中)

								1 /23	21 — 1	,					
	\		事故和	重別		災 建物	交通 事故	水難事故	風水害 等自然 災害	機械に よる事 故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆発 事故	その他の事故	計
件数	女区分	分 	_		建物	以外			火日	iX.	争以	争以			
出	専イ		急隊	対員											
	兼亻		助隊	ᡬ員	11		193	26	15	22	4			22	293
場	消	防	隊	員	46		121	34	8	8	4			21	242
人	救	急	隊	員	6		225	15		20	6			16	288
	消	防	団	員											
員		1	+		63		539	75	23	50	14			59	823
活	専イ	任 救	急隊	矣員											
	兼亻	任 救	助隊	矣員	11		62	6		11				18	108
動	消	防	隊	員	46		60	4		5	4			21	140
人	救	急	隊	員	6		100	3		10	3			16	138
	消	防	団	員											
員			+		63		222	13		26	7			55	386

⁽注)1. 本表は、事故種別ごとに、救助活動のために出場した人員及び活動した人員を記載する。

^{2.} 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

事故種別出場車両及び活動車両等台数調

(平成 24 年中)

	事故種別	火	災	交通	水難	風水害等自然		建物等	ガス及	爆発	その他	
件数	拉区分	建物	建物 以外	事故	事故	等自然 災害	よる事故	による事故	び酸欠 事故	事故	の事故	計
		2		44	4	3	6	1			4	64
	救助工作車	(2)		(13)	(1)		(3)				(3)	(22)
	ポンプ自動車	11		16	7	1	2	1			5	43
	か ノ ノ 日 期 早	(11)		(10)	(1)		(1)	(1)			(5)	(29)
	屈折はしご車・はしご車					2						2
		1		16	1	1					1	20
出	化 学 車	(1)		(4)							(1)	(6)
場		2		2	1						1	6
	指揮車・司令車	(2)		(2)							(1)	(5)
車	*	2		71	5		6	2			5	91
両	救 急 車	(2)		(31)	(1)		(3)	(1)			(5)	(43)
等	船舶											
	ヘリコプター											
	その他	4		6	5	1	1				2	19
	で り 他	(4)		(6)	(1)		(1)				(2)	(14)
	消防団車両											
	≑ L	22		155	23	8	15	4			18	245
	計	(22)		(66)	(4)		(8)	(2)			(17)	(119)

⁽注)1 本表は、事故種別ごとに、救助活動のために出場した車両等のうち実際に活動した車両等の台数につい て記載する。 2 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。 3 ()は、活動車両

事故種別発生場所別出場件数及び活動件数調

(平成 24 年中)

		事故種	日日日			()	汉 24	年中)			ガス及			
	\	学 以但	E/J'I	火	災	交通	水難	害等	機械	建物	び酸	爆発	その	= 1
件数	文区分	}	/	建物	建物 以外	事故	事故	風水 害自 災害	による 事故	等によ る事故	欠事 故	事故	他の事故	計
	Æ		Я	2					1	2			1	6
屋	住		居	(2)						(1)			(1)	(4)
内	7		4						1					1
	~	の他の屋	内						(1)					(1)
		高 速 道	路			10								10
	道	国	路 道			(3)								(3)
	路	7 0 11 0 4	пЬ			34			2				1	37
		その他の道	路			(10)			(1)					(11)
屋		-t- 1.	~				6						1	7
	水	内 水	面				(2)						(1)	(3)
	面													
外		外水	面											
	, I ,		T.										2	2
	山		岳										(2)	(2)
	7.		Ы					3	2				1	6
	そ	の他の屋	外						(1)				(1)	(2)
ᅫ			٦.											
地			下											
2-		Ø.	lψ											
そ		0	他											
		計		2		44	6	3	6	2			6	69
		ਜ [¯		(2)		(13)	(2)		(3)	(1)			(5)	(26)

⁽注)1 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

^{2 ()}は、活動件数

事故種別発生場所別救助人員調

(平成 24 年中)

		古北廷III			(17/2 2	午中	/					
70	\	事故種別		災	交通	水難	風水害等	機械	建物 等によ	ガス及 び酸	爆発	その他 の事	計
件数	区分		建物	建物以外	事故	事故	害自然害	による 事故	る事故	欠事 故	事故	故	μΙ
屋	住	居	2						1			1	4
内	その)他の屋内						1					1
	道	高速道路			3								3
	路	その他の道路			12			1					13
屋	その他の道路 内 水 面 水 面					2						1	3
外	面	外 水 面											
	山	岳										2	2
	その)他の屋外						1				1	2
地		下											
そ		の 他											
		計	2		15	2		3	1			5	28

⁽注) 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

救 急 統 計



平成24年救急活動の概要

1 救急出場状況

救急出場件数は 4,660 件で、前年より 95 件(2.0%)減少し、搬送人員も 4,476 人で前年より 279 人(6.1%)減少している。

<u>昨年(東日本大震災の影響により著しく増加)より減少しているが、昨年を例外としてみると年々</u> 増加傾向にあり、その中でも著しく高齢者の搬送が多くなっている。

1日平均出場件数は 12.7件で、増加の一途をたどっている。

伊達消防本部管内では、約23.2人に1人の割合で救急車を利用したことになる。

2 月別出場件数

月別の救急出場状況は1月の481件が最も多く、次いで12月の438件となっている。

また、月平均出場件数は 388.3 件(前年比 8 件減、2.0%減)で、月平均搬送人員は 373 人(前年 比 6.6 人減、1.7%減)となっている。

3 市町別出場状況

市町別出場件数では、伊達市(旧伊達、保原、梁川、霊山、月舘町)が 2732 件(前年比 4 件増、 0.15%増)と最も多く、次いで川俣町の 744 件(前年比 20 件減、2.6%減)、桑折町 503 件(前年比 76 件減、13.1%減)の順となっている。

4 事故種別出場状況

事故種別では、急病の出場件数が 3,174 件(前年比 52 件減、1.6%減)で最も多く、全体の 68.1% を占めている。次いで一般負傷 635 件(前年比 6 件減、0.9%減)全体の 13.6%、転院搬送 404 件(前年比 2 件減、0.5%減)全体の 8.7%、交通事故 308 件(前年比 13 件減、4.0%減)全体の 6.6%の順となっている。

5 医療機関別搬送状況

搬送人員の 56.2%にあたる 2,517 人(前年比 38 人増、1.5%増)が管内の医療機関に搬送され、43.8%にあたる 1,959 人(前年比 117 人減、5.6%減)が管外の医療機関に搬送されている。

6 高速道路(東北自動車道)への出場状況

東北自動車道への出場状況は、34 件(前年比 5 件減、12.8%減)、搬送人員は45 人(前年比 10 人増、28.6%増)となっている。

交通事故による出場件数は、23件(前年比2件増、9.5%増)で、全体の67.7%を占めており、急病は8件(前年比4件減、28.6%減)で、全体の23.5%となっている。

市町別·月別救急出場状況

																((H24. 12	2.31現在)
		月別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8月	9	10 月	11 月	12 月	合計	前年	増減数 AーB	増減率 %
市	町名 🔪	父包		,,	74	7,	/ •	/ •	,,	/ •	,,	/ •	74	/ •	(A)	(B)	(C)	C/B×100
	旧	出場 件数	56	44	48	37	37	31	41	44	33	48	44	45	508	501	7	1. 40
	伊達町	搬送人員	53	42	45	34	37	31	41	40	30	45	44	43	485	478	7	1. 46
伊	旧	出場 件数	80	54	46	55	51	57	57	54	44	54	61	55	668	697	△ 29	△ 4.16
<i>T</i>	梁川町	搬送人員	72	50	45	50	50	53	56	50	44	50	61	55	636	670	△ 34	△ 5.07
	旧	出場 件数	74	80	70	89	72	72	90	103	69	94	74	93	980	927	53	5. 72
士	保原町	搬送人員	70	72	67	83	71	71	86	101	66	91	72	92	942	884	58	6. 56
達	旧	出場 件数	50	34	32	33	26	32	27	37	33	38	39	35	416	440	△ 24	△ 5.45
	霊山町	搬送 人員	51	33	29	32	26	31	24	36	34	40	37	31	404	430	△ 26	△ 6.05
	旧	出場 件数	20	13	7	16	12	11	13	13	12	15	11	17	160	163	△ 3	0. 74
市	月舘町	搬送 人員	18	13	7	15	11	11	13	12	12	14	11	16	153	157	\triangle 4	△ 2.55
	小計	出場 件数	280	225	203	230	198	203	228	251	191	249	229	245	2, 732	2, 728	4	0. 15
	/1,旦1	搬送 人員	264	210	193	214	195	197	220	239	186	240	225	237	2, 620	2, 619	1	0.04
	桑折町	出場 件数	44	46	52	44	38	27	53 (2)	50 (1)	34	32	32	51	503 (3)	579 (1)	$\begin{array}{c} \triangle & 76 \\ 2 \end{array}$	△ 13.13
	米切門	搬送 人員	41	41	48	42	37	27	50 (2)	47 (1)	34	31	32	47	477 (3)	553 (1)	\triangle 76 \triangle 3	
伊達	国見町	出場 件数	52	35 (2)	31 (4)	23	32 (2)	32	39 (2)	43 (3)	28	34	23 (1)	39 (1)	411 (15)	388 (26)	23 \triangle 11	5. 93
達郡		搬送 人員	48	31 (2)	32 (4)	23	27	32	36 (1)	44 (3)	27	31	24 (1)	38 (1)	393 (12)	369 (22)	$\begin{array}{c} 24 \\ \triangle 10 \end{array}$	6. 50
	川俣町	出場 件数	77	68	47	66	51	43	63	61	52	68	77	71	744	764	△ 20	△ 2.62
	/************************************	搬送 人員	71	64	44	63	50	41	60	57	52	64	73	68	707	725	△ 18	△ 2.48
福皂	飯野町	出場 件数	22	17	15	16	19	9	24	22	22	15	16	29	226	218	8	3. 67
島市	DV EJ EJ	搬送 人員	22	19	15	15	22	10	23	21	21	15	15	27	225	215	10	4. 65
	その他	出場 件数	6 (1)	2	9 (2)	4 (3)	1	3 (2)	2 (1)	9 (5)	1 (1)	2 (1)	2	3	44 (16)	78 (12)	△ 34 4	
	C 47 E	搬送 人員	6 (1)	2	9 (2)	3 (2)	1	2 (2)	1 (1)	23 (20)	1 (1)	1 (1)	2	3	54 (30)	74 (12)	△ 20 18	
	合計	出場 件数	481 (1)	393 (2)	357 (6)	383 (3)	339 (2)	317 (2)	409 (5)	436 (9)	328 (1)	400 (1)	379 (1)	438 (1)	4, 660 (34)	4, 755 (39)	$\begin{array}{c} \triangle \ 95 \\ \triangle \ 5 \end{array}$	△ 2.00
	ы ні	搬送 人員	452 (1)	367 (2)	341 (6)	360 (2)	332	309 (2)	390 (4)	431 (24)	321 (1)	382 (1)	371 (1)	420 (1)	4, 476 (45)	4, 555 (35)	△ 79 10	△ 1.73

()は、東北自動車道への出場状況

市町別・事故種別救急出場状況

(H24.12.31現在)

		J. 65. P												(H24. 12. : その他							
	── ^{事詩}	枚種別	.1. 111	自然	4 111 . I.	交通	労働	運動	一般	to the	自損	# <u>, _</u>	de a trada				ا ⇒ ۸				
市岡	J名	区分	火災	自然 災害	水難	事故	災害	競技	負傷	加害	行為	急病	転院 搬送	医師 搬送	資機材 等輸送	その他	合計				
	旧	出場 件数	3			31	2	3	68		3	312	85		7 1277	1	508				
	伊達町	搬送 人員	3			33	2	3	65		2	292	85				485				
伊	旧	出場 件数	1			32	3	1	95	2	7	490	34			3	668				
	梁川町	搬送 人員	2			34	3	1	89	2	4	467	34				636				
	田	出場 件数				53	10	21	113		4	677	99			3	980				
達	保原町	搬送 人員				57	10	20	108		3	645	99				942				
	旧	出場 件数				28	2	2	64		2	309	6			3	416				
	霊山町	搬送人員				34	2	2	65		1	293	6			1	404				
市		出場 件数				11	4	1	16		3	122	2			1	160				
	月舘町	搬送人員				11	4	1	17	0	1	117	2				153				
	小計	出場 件数	5			155	21	28	356	2	19	1910	226			11	2732				
		搬送 人員 出場	Э			169 27	21	3	344 63	2	3	1814 386	226			1 2	2620 503				
伊	桑折町	件数				(3) 25	8	3	60		3	367	11				(3) 477				
<i>D</i>		人員出場	1			(3) 29	4	1	53		7	241	72			3	(3)				
達	国見町	件数 搬送				(5) 36	4	1	(3)		4	(7) 226	72				(15) 393				
郡		人員出場				(5) 59	5	3	(3) 120	2	5	(4) 469	76			5	(12) 744				
	川俣町	件数搬送				63	5	3	115	2	3	439	76			1	707				
福		人員 出場				18	2		36			151	19				226				
島市	飯野町	件数 搬送				27	2		33			144	19				225				
111		人員 出場 供料				20			7			17					44				
7	この他	件数 搬送 人員				(15)			7			(1) 15					(16) 54				
		出場 件数	5			(29) 308 (23)	40	35	635	4	34	(1) 3, 174	404			21	(30) 4, 660				
	合計	性級 搬送 人員	5			(23) 352 (37)	40	34	(3) 609 (3)	4	21	(8) 3, 005 (5)	404			2	(34) 4, 476 (45)				

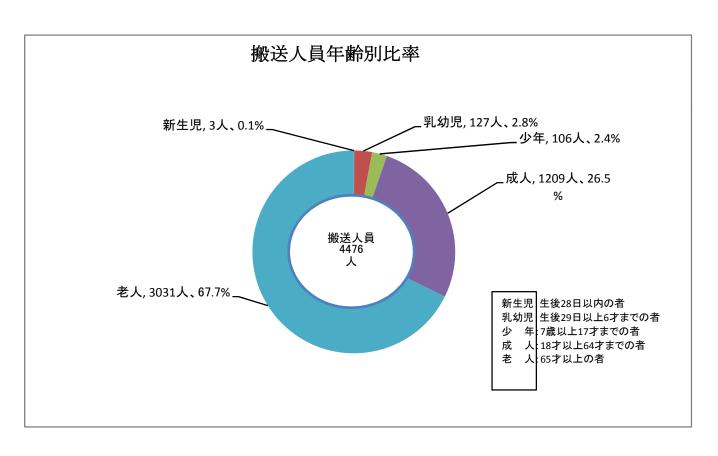
⁽⁾は、東北自動車道への出場状況

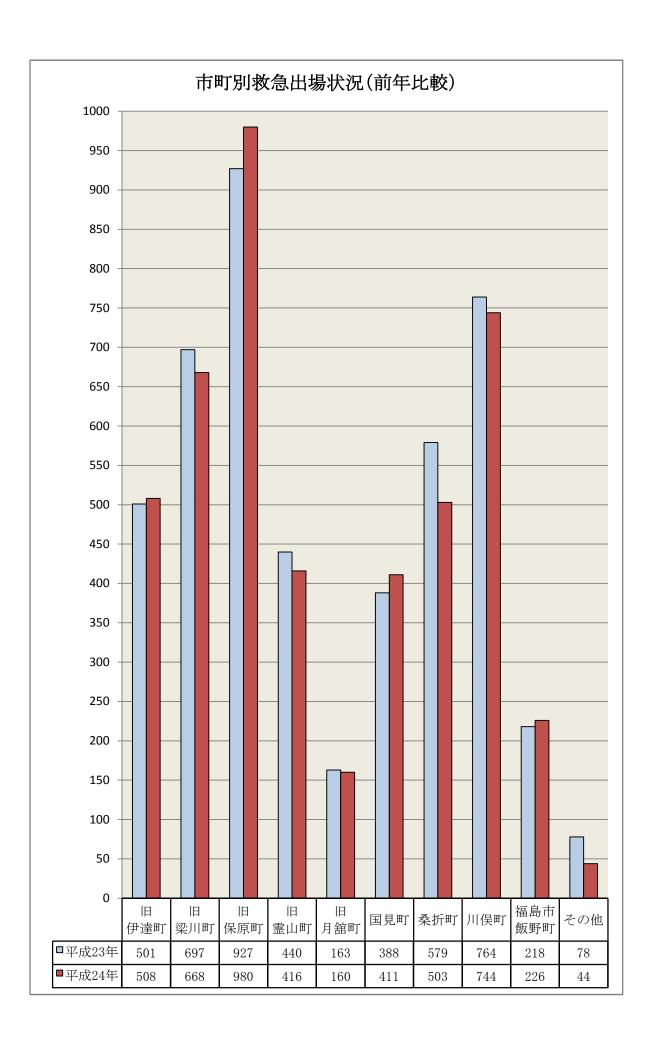
事故種別救急出場状況 (前年比較)

区	分	平成24年 (A)	平成23年 (B)	増減数 (C)=(A)-(B)	増減率(100%) (C)/(B)×100
火災	出場件数	5	2	3	150.0
人 人 人	搬送人員	5	2	3	150.0
白鉄巛宝	出場件数	0	11	Δ 11	Δ 100.0
自然災害	搬送人員	0	10	Δ 10	Δ 100.0
水難	出場件数	0	1	Δ1	Δ 100.0
八八夫世	搬送人員	0	0	0	0.0
交通	出場件数	308	321	Δ 13	Δ 4.0
文 世	搬送人員	352	339	13	3.8
労働災害	出場件数	40	42	Δ2	Δ 4.8
力制火音	搬送人員	40	42	Δ2	Δ 4.8
運動競技	出場件数	35	20	15	75.0
里	搬送人員	34	21	13	61.9
一般負傷	出場件数	635	641	Δ 6	Δ 0.9
双貝汤	搬送人員	609	616	Δ7	Δ 1.1
加害	出場件数	4	9	Δ 5	Δ 55.6
	搬送人員	4	8	Δ 4	Δ 50.0
自損行為	出場件数	34	47	Δ 13	Δ 27.7
日1月17 初	搬送人員	21	33	Δ 12	Δ 36.4
為岸	出場件数	3,174	3,226	Δ 52	Δ 1.6
急病	搬送人員	3,005	3,064	Δ 59	Δ 1.9
2-014	出場件数	425	435	Δ 10	Δ 2.3
その他	搬送人員	406	420	Δ 14	Δ 3.3
Δ ∌l.	出場件数	4,660	4,755	△ 95	Δ 2.0
合 計	搬送人員	4,476	4,555	Δ 79	Δ 1.7

搬送人員傷病程度別分類状況

程度	 人員	比率%	0 100 200 300 400 500 600 700 800 900 100011001200130014001500160017001800
死亡	158	3.53	
重症	750	16.76	
中等症	1,751	39.12	
軽傷	1,813	40.5	
その他	4	0.089	

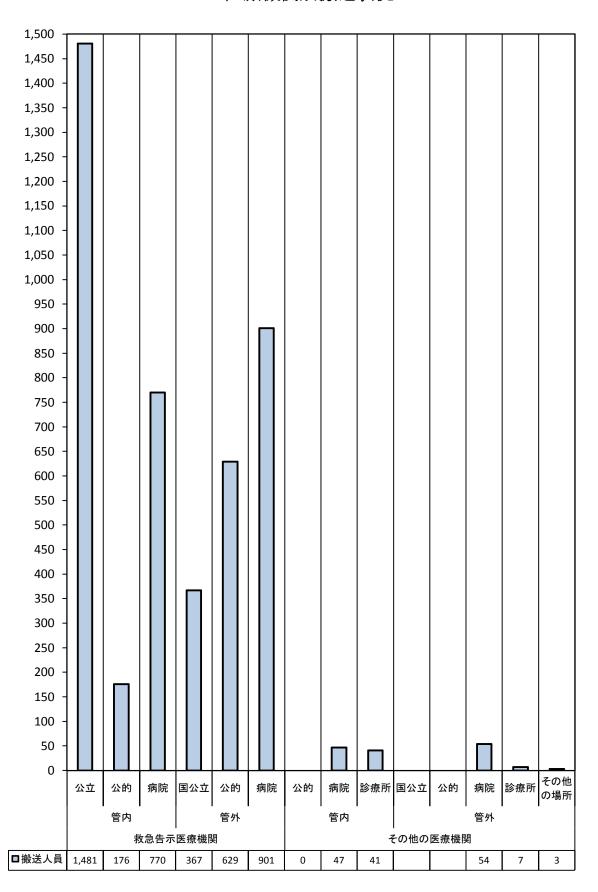


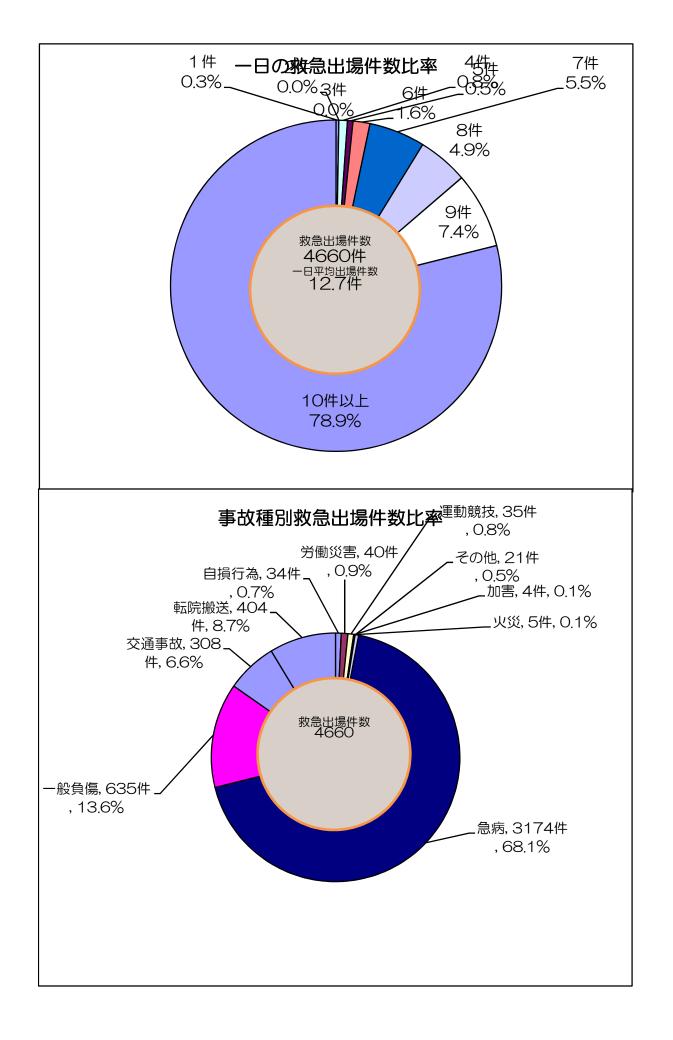


急病にかかる疾病分類別傷病程度別搬送人員調

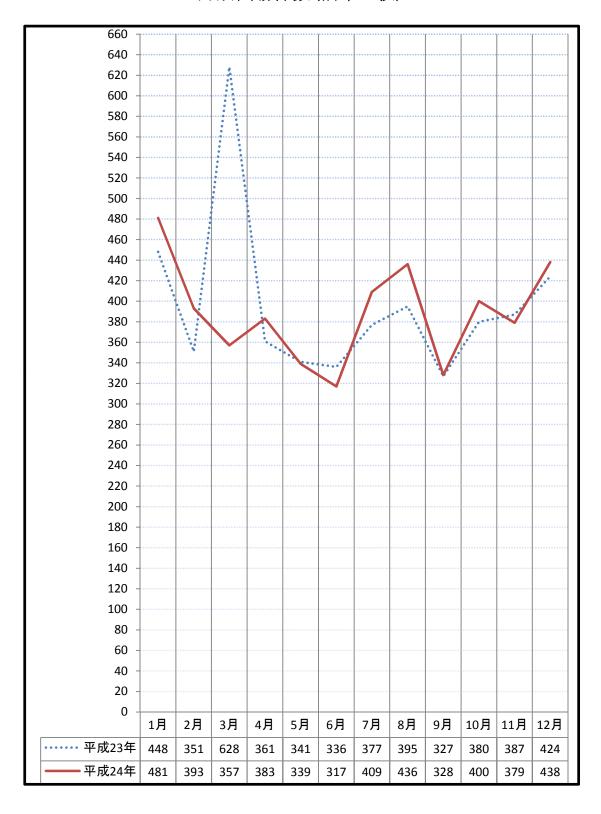
	レ ハ	循環	器系	沙儿里女	呼吸器系	生	成学习	沙尼思玄	並	2014	診断名	⇒ 1.
	区分	脳疾患	心疾患	消化器系	呼吸奋术	相們常	恐見术	泌尿器系	利生物	その他	不明確	計
新	死亡											
	重症											
生	中等症											
	軽症											
児	その他											
	計											
乳	死亡									1		1
	重症											
幼	中等症			2	4		1				29	36
	軽症	1		3	8					2	29	43
児	その他											
	計	1		5	12		1			3	58	80
	死亡											
少	重症											
	中等症			1	3		3			1	3	11
	軽症			2		6	3	1		7	6	25
年	その他											
	計			3	3	6	6	1		8	9	36
	死亡	2	6		1			1	1	2		13
成	重症	33	9	6	6	3		1	3	2	4	67
	中等症	19	17	47	17	9	26	18	5	52	42	252
	軽症	6	23	40	19	56	20	35	3	63	78	343
人	その他										1	1
	計	60				68	46	55	12		125	676
	死亡	3		1	12				2		16	124
老	重症	122	60				5	9	20	34		364
	中等症	102	107	118		4	33	48	23		139	990
	軽症	50	93	82	79	18	21	26	4	152	209	734
人	その他										1	1
	計	277	301	225	398	22	59	83	49			2,213
^	死亡	5	47	1	13			1	3		16	138
合	重症	155				3		10	23			431
	中等症	121	124		261	13		66	28		213	1,289
⇒ 1	軽症	57	116	127	106	80	44	62	7	224	322	1,145
計	その他	000	050	200	450	0.0	110	100	0.1	F 4 4	2	2 2 2 2 2
	計	338	356	326	456	96	112	139	61	544	577	3,005

医療機関別搬送状況





月別出場件数(前年比較)

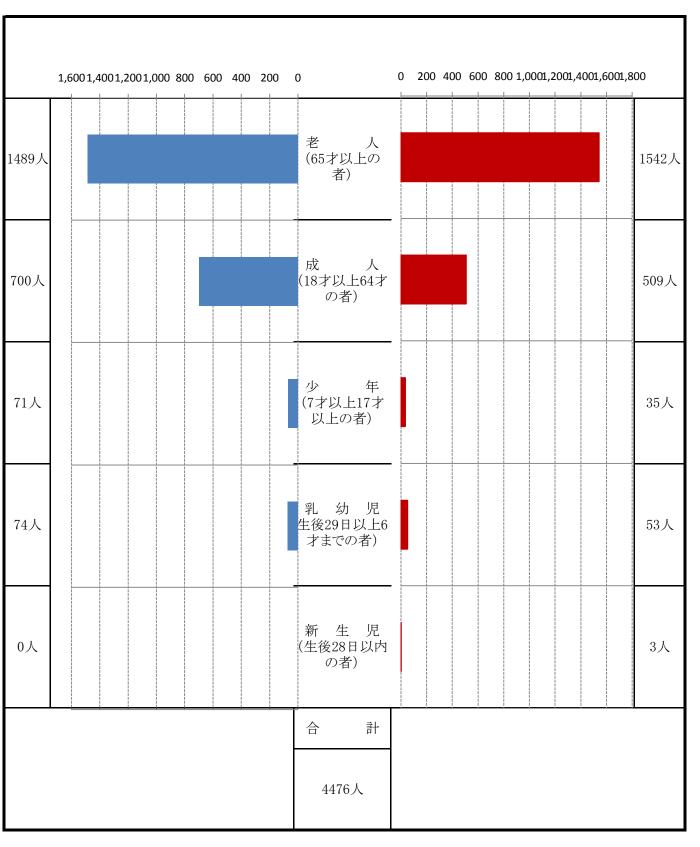


事故種別•時間別救急出場状況

			白伏			学働	運動	一般		白揖			そ	の他		
	区 分	火災	自然災害	水難	交通 事故	災害	運動競技	負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	医師 搬送	資器材 等輸送	その他	合計
î	今 計	5			308	40	35	635	4	34	3,174	404			21	4,660
	0~2				8			10	3	3	153	5				182
時	2~4	1			4			14		2	124	1				146
	4~6				7		1	20		2	130	5			1	166
間	6~8				35	2		62		3	251	4			2	359
	8~10				45	9	6	100		2	387	32			2	583
別	10~12				47	10	16	90	1	5	321	103			1	594
	12~14				34	4	5	75		3	323	70			2	516
内	14~16				37	7	3	68		4	285	83			3	490
	16~18				47	2	2	64		4	326	63			1	509
訳	18~20	2			31	3	1	66		1	354	18			3	479
	20~22	2			6	1	1	46		2	298	13			3	372
	22~24				7	2		20		3	222	7			3	264

性別•年齢別搬送人員状況

(男 2334人) (女 2142人)



過去5年間の事故種別救急出場状況

区分		合計	火災	自然災害	水難	交通 事故	労働 災害	運動競技	一般	加害	自損行為	急病	その他
亚出90年	出場 件数	3814	4			326	22	27	495	10	49	2489	392
平成20年	搬送 人員	3632	2			323	22	28	474	9	34	2365	375
亚代01年	出場 件数	3894	4			300	27	12	511	9	45	2607	379
平成21年	搬送人員	3710	3			326	27	14	494	5	24	2462	355
平成22年	出場 件数	4204	9		1	324	30	45	540	8	46	2798	403
十)从224	搬送人員	4060	8			348	30	46	514	7	36	2679	392
平成23年	出場 件数	4755	2	11	1	321	42	20	641	9	47	3226	435
十)从23 牛	搬送人員	4555	2	10		339	42	21	616	8	33	3064	420
平成24年	出場 件数	4660	5			308	40	35	635	4	34	3174	425
十八八八十	搬送 人員	4476	5			352	40	34	609	4	21	3005	406

(過去5年間の平均出場状況)

半均	出場 件数	4265.4	4.8	2.2	0.4	315.8	32.2	27.8	564.4	8.0	44.2	2858.8	406.8
	搬送 人員	4086.6	4.0	2.0	0.0	337.6	32.2	28.6	541.4	6.6	29.6	2715.0	389.6

現場到着所要時間別出場件数調

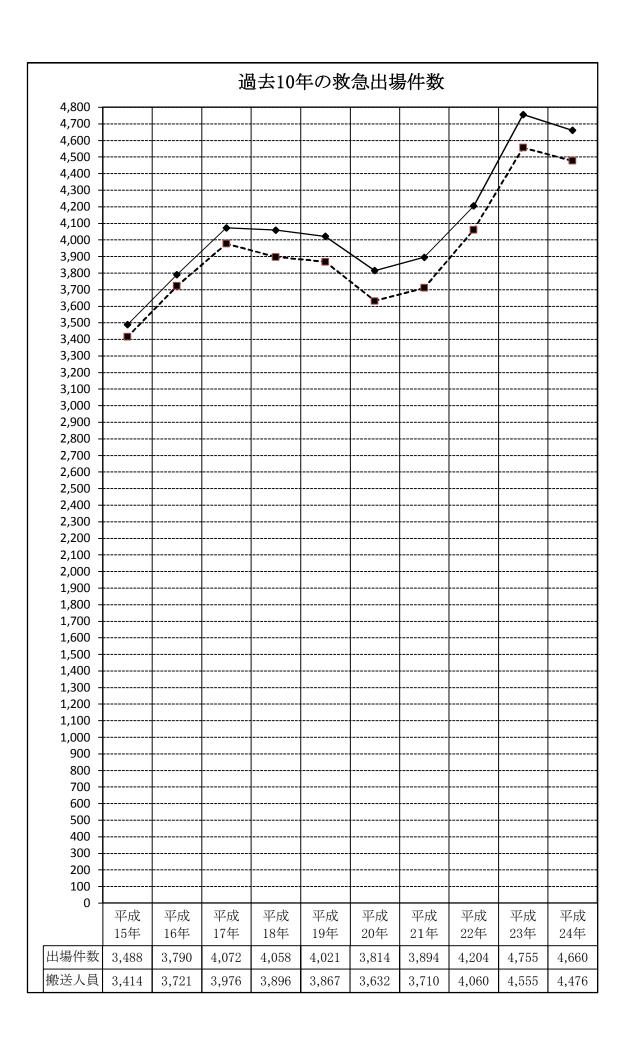
区			分	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計
急			病	146	431	1786	762	49	3174
交	通	事	故	6	33	145	96	28	308
_	般	負	傷	35	83	352	152	13	635
そ	O,)	他	31	105	311	88	8	543
	=	.1		218	652	2594	1098	98	4660
	計			(4.7%)	(13.9%)	(55.7%)	(23.6%)	(2.1%)	(100%)

⁽注) 本表は、覚知から現場到着までに要した時間区分ごとの件数を記載したものである。

収容時間別搬送人員数調

区		分	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計
急		病		87	643	2005	266	4	3005
交	通事	故		3	31	233	71	14	352
_	般 負	傷		9	108	433	59	0	609
そ	の	他		19	136	330	25	0	510
	計			118	918	3001	421	18	4476
	訂			(2.6%)	(20.5%)	(67.1%)	(9.4%%)	(0.4%)	(100%)

⁽注) 本表は、覚知から傷病者を医療機関等に収容した時までに要した時間区分ごとの搬送人員を記載した ものである。



市町別の救急出場率及び搬送割合の推移

	区分		20年	平成21年		平成22年		平成23年		平成24年	
市町別		(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)
	旧伊達町			330.9		354.1	28.2	422.6	24.6	426.1	23.5
	旧梁川町		31.9		31.6						
伊 達 市	旧保原町	313.2									
	旧霊山町										
	旧月舘町										
桑	折町	278.5	35.9	312.8	32.9	346.1	28.9	454.1	23.1	403.6	24.8
玉	国見町		34.1	324.9	32.3	320	31.2	387.1	27.2	415.3	24.1
川俣町		337.9	29.6	368.6	28.7	396.3	25.2	495.2	21.3	495.5	20.2
福島市 飯野町		291.1	34.4	347.3	31.4	306.4	32.6	364.5	27.4	389.7	25.7
管		313.6	31.8	338.7	31	357.8	27.9	458.3	24.1	430.23	23.2

- ※(A) 救急出場率:人口1万人あたりの救急出場件数
 - (B) 住民搬送割合:何人に1人の人が、救急車により搬送されているかの割合 平成24年中、伊達消防本部管内においては、約23.2人に1人の割合で救急車で搬送 されていることを表す。
- ※ 人口は平成24年4月1日現在の推計人口

署 · 分署別救急出場状況(前年比較)

区	分	平成 2 4年 (A)	平成23年 (A)	増減数 (C)=(A)-(B)	増減率(100%) (C)/(B)×100	
中 山沙叶栗	出場件数	1,139	1,105	34	3.1	
中央消防署	搬送人員	1,089	1,052	37	3.5	
東分署	出場件数	616	642	Δ 26	Δ 4.0	
米刀者	搬送人員	585	619	Δ 34	△ 5.5	
西分署	出場件数	1,281	1,338	Δ 57	Δ 4.3	
四刀名	搬送人員	1,232	1,272	Δ 40	Δ 3.1	
南分署	出場件数	942	961	Δ 19	Δ 2.0	
用刀有	搬送人員	909	927	Δ 18	Δ 1.9	
北分署	出場件数	682	709	Δ 27	Δ 3.8	
4.刀 有	搬送人員	661	685	Δ 24	Δ 3.5	
合 計	出場件数	4,660	4,755	Δ 95	Δ 2.0	
	搬送人員	4,476	4,555	△ 79	Δ 1.7	